取扱説明書

DAYTONA
R19998①/②

*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。
*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。
*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

ノーマルヘッド88ｃｃ エントリーPKG	適応車種	商品NO.
	別記	19998

■ ご使用前に必ずご確認ください■

※　取扱説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。
※　商品の保証については保証書裏面の保証規定に沿って行っております。保証内容をご理解のうえ、この取扱説明書と一緒に保管してください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

⚠警告	要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
⚠注意	要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	禁止	禁止の行為であることを告げるものです。
法令違反	条件次第では法令違反となることを告げるものです。	その他	その他の警告及び注意を告げるものです。

⚠警告　⚠注意

※詳細な警告事項、注意事項については、それぞれの説明書をご参照ください。

本商品の特徴

- ノーマルヘッドボアアップキットの取り付けに必要な強化クラッチ、強化オイルポンプ、強化カムチェーンをセットにしたお得なパッケージです。
- キャブレターとマフラーはお好みでお選び頂けます。
- 別途、品番 76281 エンジン分解工具セットをご用意頂ければ、組み立てに必要な特殊工具も全て揃えることができます。

商品内容

NO	パーツ名	サイズ	数量	NO	パーツ名	サイズ	数量
18796	ノーマルヘッド88ｃｃボアアップキット	88ｃｃ	1	74670	メガオイルポンプ	2.3倍	1
95634	1次側強化3枚クラッチキット		1	77036	カムチェーン	82L	1

適合車種

適合車種	型式	フレームNO
モンキー/ゴリラ（12V）	Z50JN/P/S/T/V/W/X Z50JY/1/2/4/5/6/7	Z50J-2000001～ AB27-1000001～

取付手順

※詳細な取付け内容については、それぞれの説明書をご参照ください。

補修部品

※補修部品については、それぞれの説明書をご参照ください。

セッティング

※8 インチの場合スプロケットのセッティングは不要です。ノーマルのスプロケットのままで問題ありません。
※キャブレターのセッティングに関しましては、キャブレターの説明書をご参照ください。

オプションパーツ

品番	品名	備考
92225	ＰＣ２０ビッグキャブＫＩＴ	もっともお奨めのキャブレターです。(キャブレター、マニホールド、スロットルケーブル、セッティングパーツ等）セッティングを出しやすく、乗りやすい仕様です。
63365	パワーアドバンスパワーフィルターΦ35 ラウンドテーパー	PC20 キャブレター用のパワーフィルターです。
63353	パワーアドバンスパワーフィルターΦ35 ラウンドオーバル	
46776	パワーフィルターΦ35	
98332	ハイカムシャフト	ノーマルヘッド限界までリフト量をアップし、低中速～最高回転まで全域パワーアップを実現
96806	NEW ハイパーヘッドバージョンＵＰキット	ハイパーヘッドにバージョンＵＰするためのＫＩＴです。
72017	スポーツＵＰマフラー /ステンレスサイレンサー	８インチスタイルにお奨めのＵＰタイプマフラー
76281	エンジン工具セット	モンキーのエンジンの分解、組み立てに必要な特殊工具をまとめたお得な工具セットです。

東証JASDAQ上場 株式会社デイトナ　〒437-0226　静岡県周智郡森町一宮 4805
URL: https://www.daytona.co.jp
◎デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」0120-60-4955 まで

取扱説明書

DAYTONA
R18796①/⑭

*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。
*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。
*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

ノーマルヘッド対応 ボアアップＫＩＴ88ｃｃ	適応車種	商品ＮＯ.
	モンキー／ゴリラ （12V用）	18796

■ご使用前に必ずご確認ください■

※　取扱説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。

※　商品の保証については保証書裏面の保証規定に沿って行っております。保証内容をご理解のうえ、この取扱説明書と一緒に保管してください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

▲警告	要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
⚠注意	要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

 実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	 禁止	禁止の行為であることを告げるものです。
 火気厳禁	表記の禁止行為を告げるものです。	 その他	その他の警告及び注意を告げるものです。
 法令違反	条件次第では法令違反となることを告げるものです。		

▲警告

 禁止	・ 作業に入る前に必ず安全を確保した上で作業を行ってください。 ・ この商品は、記載されている適合車種以外の車両には使用しないでください。 ・ 走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を点検してください。

⚠注意

 法令違反	・ この商品は道路運送車両法の保安基準に適合しておりますが、スピード違反やマフラー、キャブ等交換により音量が保安基準を超えた場合は、ライダー自身が道路交通法違反で罰せられます。運転は必ず遵法運転を心がけ楽しいバイクライフをエンジョイしてください。 ・ <u>当商品を装着することにより、排気量が変更となるため、原付２種扱いとなります。したがって、一般公道走行の場合は次の条件を満たす必要があります。下記条件を満たさないで一般公道を走行した場合は、該当する法令に抵触しますので、必ず手続き及び、免許の取得を行ってから走行をしてください。</u> ①運転免許の資格が普通自動二輪(小型二輪)以上であること。 ②市町村区の役所において、車両登録標識(ナンバープレート)を該当する排気量の物に変更する事。 ③任意及び自賠責保険の条件が該当排気量に合致している事。

2021/04/21

火気厳禁

- 作業の前にエンジン及びマフラーが冷えていることを確認してください。走行直後などでエンジンやマフラーが冷えていないまま作業を行いますと火傷の原因となり大変危険です。
- **燃料ホースの取り外し作業は、必ず火気厳禁で行なってください。また、ガソリンからは揮発したガスが常に発生していますので、十分な換気を行ないながら作業をしてください。**

実施

- この商品を装着した場合、トルク＆パワーは増加しますが、最高回転数はノーマルより低くなります。最高速調整の為、ドライブスプロケット（15丁）への交換をお奨めします。ただし、当社1次側強化3枚クラッチKIT装着の場合は交換不要です。（チェーンを長いものに交換する必要があります。）
- 排気量が大幅にアップし、熱量も増加するため、オイルポンプは当社メガオイルポンプを使用して下さい。
- **この商品を装着した際は必ず1次側強化3枚クラッチキット（又は他社の2枚以上の強化クラッチキット）の装着が必須です。**
- この商品を取り付けた場合、ノーマルのマフラーやキャブレターでは容量不足のため、お奨めしません。また、車種によってはキャブレターがフィンと接触します。**ビッグキャブ（PC20等）と市販のマフラーを装着してください。**
- **この商品を装着した際は必ず点火プラグの熱価を７番以上にしてください。**
- **使用するガソリンは必ずハイオクガソリンをご使用ください。**
- **推奨エンジンオイル（粘度は使用する地域の外気温に適した粘度のオイルを使用すること。）を使用してください。**

【推奨オイル】

メーカー	品名	粘度
MOTOREX	POWER　SYNT　4T	SAE10W／50、5W／40
↑	CROSS　POWER　4T	↑

※ＪＡＳＯ　MA　ＡＰＩ分類　SG以上の、１００%化学合成モーターサイクル用エンジンオイルを使用すること。

- **オイルは初回 500ｋm、次回 2000ｋmを目処に、交換をおこなってください。**
- 作業の際、ケースカバー内に異物が混入しないよう十分に注意して作業してください。
- 作業の際、ゴミやほこり等の付いたままのパーツをそのまま組み付けますとエンジン部品が痛みます。パーツ類は必ずきれいにしてから組み付けを行ってください。
- 取り付け後約１００km 走行しましたら各部を点検してネジ部等の増し締めを行ってください。その後は約５００km 毎に必ず点検を行い、同様の増し締めを行ってください。
- この商品は、記載されている適合車種以外の車両には装着を行わないでください。
- 取り付けは確実に行ってください。また、走行中にネジ部等が緩まないよう、トルクレンチを使って所定トルクで確実に締め付けを行ってください。
- 走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所の点検を行ってください。
- 必ず安全を確保した上で、確認を怠らないよう十分注意し、作業を行ってください。
- この商品の取り付けにあたっては、設備の整ったオートバイ店もしくは認証整備工場で専門的な教育を受けた整備士に作業を行って頂く必要があります。専門外の方が作業を行うと、けがや火傷等の恐れがあり大変危険です。従って、この商品の取り付けは専門のオートバイ店もしくは認証整備工場へ依頼し、装着を行ってください。
- この商品を取り付ける際は、車両のジャッキアップ等、危険な作業を行います。作業全般において、車両転倒等により、重大な事故・怪我をする可能性があります。

その他

- **この商品を装着した事に依る二次的トラブル（クランクケースの破損、焼きつき、ミッションギアーの破損等）は一切保証の対象外とさせて頂きます。又商品に関しても、当社製造上等の不良が認められない限り、保証の対象外とさせて頂きますので予めご了承ください。**
- 性能向上のため、関連パーツで必要となる商品がございます。本説明書では関連パーツの商品に関しては、取り付け手順を省略しております。予めご了承ください。
- この商品は、予告無しに価格や仕様の変更をする場合があります。また、文中に御紹介した商品についても同様です。予めご了承ください。
- 商品の不具合についての保証を行っておりますが、商品以外の費用の保証は一切できませんのでご了承ください。

	・ この商品の取り付けには別途ホンダ純正のサービスマニュアルをご用意していただき、確実な作業を行ってください。また、この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。適切な工具の準備が不十分であったり、または取り付け経験が無かったりする場合は、技術や経験を有したショップへ作業を依頼されることをお勧めいたします。 ・ この商品の装着にあたってはキャブレターのセッティングの必要（ノーマルキャブレターの場合も含む。）があります。 ・ レース等、競技目的の使用は自己責任にて、保証の対象外であることをご了承のうえ使用してください。 ・ この商品は耐久性の面ではノーマルエンジンに及びません。定期的なメンテナンスが必要になりますので、あらかじめご了承ください。

本商品の特徴

- 圧縮比は約 11.5。
- Φ52 ピストンはコスワースタイプで非常に軽量。
- 0.8mm特殊表面処理のピストンリングの採用で耐焼き付き性と耐磨耗性アップ。
- 冷却効率に優れた新型のビッグフィンシリンダーへ変更。
- シリンダー下側にはレッグシールド装着用の穴が追加。

同時装着部品

品番	品名	説明
74670	メガオイルポンプ	排気量アップで熱量が上がるため、オイルポンプの交換が必要です。
77415	強化カムチェーン２５ＨＳ/82 リンク	エンジン出力が飛躍的に上がります。ノーマルカムチェーンで発生するキンクを事前に防止します。
92225	ＰＣ２０ビッグキャブＫＩＴ	もっともお奨めのキャブレターです。セッティングを出しやすく、乗りやすい仕様です。
95634	１次側強化３枚クラッチ KIT	エンジン出力が飛躍的に上がりますので、駆動系トラブル&エンジントラブルの軽減を図ります。

オプション部品

品番	品名	説明
98332	ハイカムシャフト	ノーマルヘッド限界までリフト量をアップし、低中速～最高回転まで全域パワーアップを実現
93302	強化スタッドボルト（ナット付き）セット	クロームモリブデン鋼を使用した高引張強度仕様のスタッドボルト（ロングキャップナット付属）
93301	強化スタッドボルトセット	クロームモリブデン鋼を使用した高引張強度仕様のスタッドボルト
26415	強化バルブスプリングセット	高回転時のサージングを防止します。
96806	ハイパーヘッドバージョンＵＰキット	ハイパーヘッドにバージョンＵＰするためのＫＩＴです。
29240	スーパーハイスロットルキット/ブラック	ディスクブレーキに変更し、純正のスロットルホルダーを使用しない車両用のスロットルホルダー・スロットルスリーブ・ケーブルがセットのビッグキャブ用ハイスロキット。

参考セッティング（直キャブ）

PE24 キャブレター	M/J	#98
	S/J	#45
	スロットルバルブ	#3
PE20 キャブレター	M/J	#82
	S/J	#45
	スロットルバルブ	#3
PC20 キャブレター	M/J	#85
	S/J	#38

商品内容

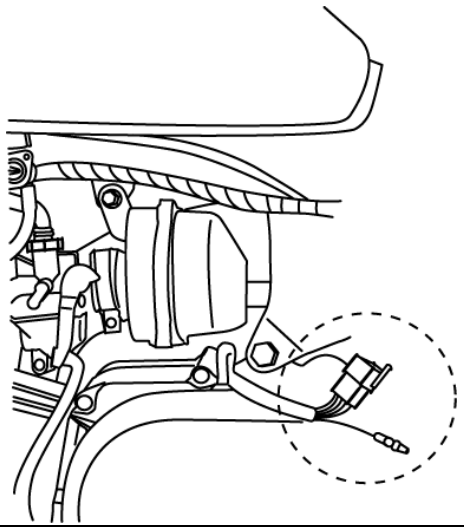
No.	パーツ名	サイズ(mm)	数量	No.	パーツ名	サイズ(mm)	数量
①	アルミシリンダー		1	⑨	Lサイドカバーガスケット		1
②	ピストン		1	⑩	Rサイドカバーガスケット		1
③	ピストンリングセット		1	⑪	エキゾーストガスケット		1
④	ピストンピン		1	⑫	マニホールドガスケット		1
⑤	ピストンピンサークリップ		2	⑬	Oリング※1		2
⑥	ヘッドガスケット		1	⑭	Oリング(大)		2
⑦	ベースガスケット		1	⑮	ボアアップキット用標識		1
⑧	ヘッドカバーガスケット		1	※1　1個は使用しません。			

エンジンの下ろし方、分解方法

エンジンを下ろすとサイドスタンドが使用できませんので、車体の保持に、レーシングスタンドを使用し、車体を固定してください。

1.

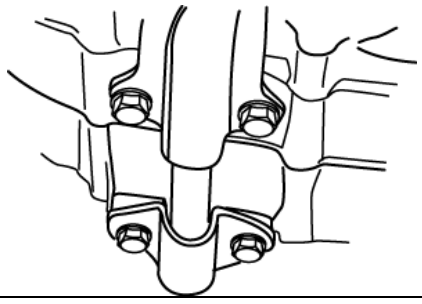
左クランクケースカバーの上から出ている配線を辿り、エンジンハンガー内側のラバーブーツから、<u>６Ｐカプラー・黒のギボシ</u>を抜き取ります。



2.

クランクケース下側・ステップを固定しているボルト（４本）を緩め、ステップ&サイドスタンドを取り外します。

その際、サイドスタンド戻し忘れ防止の配線がある車両は、スイッチから出ている配線の緑色のカプラーを外しておいてください。

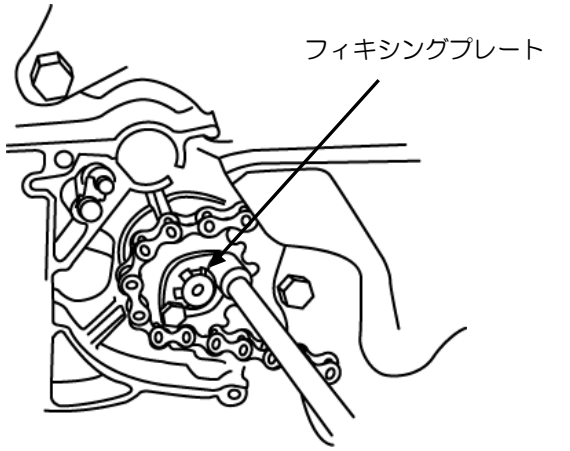


3.

クランクケース左側Ｌサイドカバーを外し、フロントスプロケットを外します。

スプロケットを外す際は、ギアを１速にいれ、スプロケットを固定しているボルト（２本）を緩めて、外します。

その後、フィキシングプレートを回し、フィキシングプレートをずらし、プレートの凸とシャフトの凹をあわせ、手前に抜き取ります。



4.

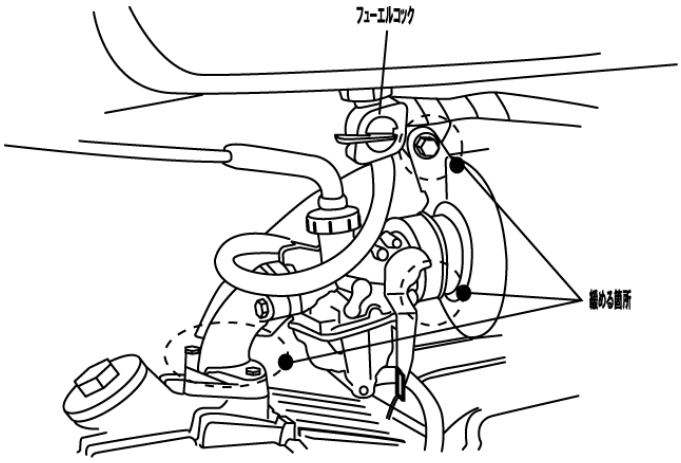
【キャブレター・エアークリーナーを外します。】

フューエルコックをオフにし、ホースを抜きます。

その際、ホースからガソリンが噴き出す場合がありますので、ウエスなどで、ホースを包み込むようにし、ガソリンの飛散防止を行ってください。

キャブレターを固定しているマニホールド固定ボルト＆エアークリーナー固定ボルト＆エアクリーナーインシュレーター固定バンドを緩め、キャブレター・エアークリーナーをはずします。

フレームＮｏがＡＢ２７以降の車両は、エアークリーナーにブローバイガス還元のホースが付いていますので、このホースをエアークリーナーから抜きます。



5.

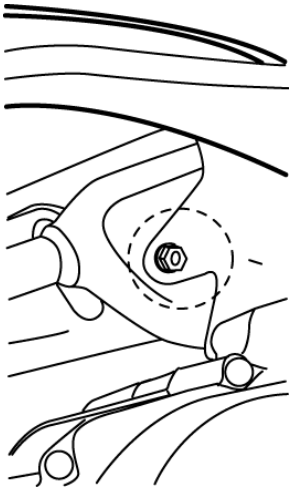
【純正マフラーを外します。】

図Ａ

エンジンマウントと共締めしているナットをはずします。

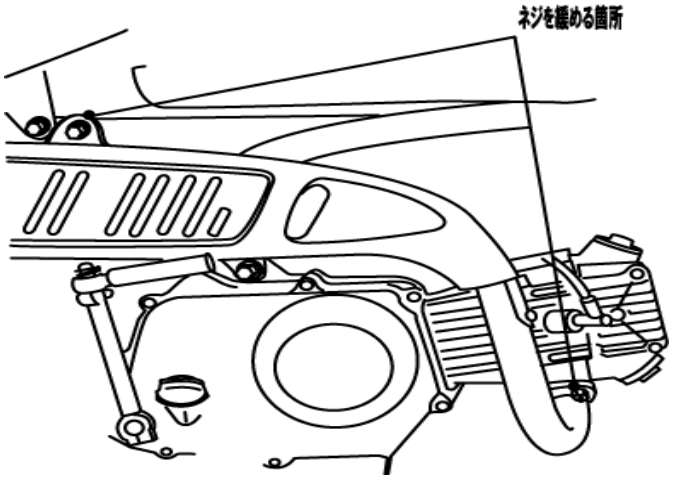
図Ｂ

フレーム側固定ボルト【シートとタンクの間】と、シリンダーヘッド側ナットをはずし、マフラーを引き抜きます。



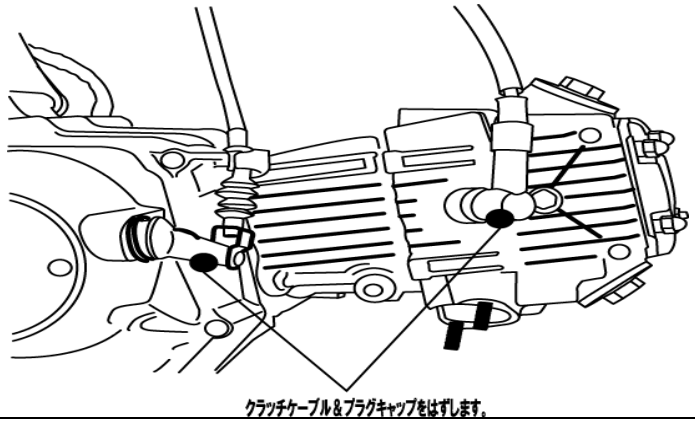
図Ａ：車体左側から見たところです。マフラー左側のＭ６のナットを外します。

図Ｂ



6.

【プラグキャップ・クラッチケーブルを外します。】



7.

【エンジンを車体より降ろします。】

エンジンマウントボルト（2 本）を抜くと、エンジンが車体より外れますので、危険防止のため、クランクケース下側に、ジャッキ、又は、丈夫な箱などを置いて、安全策を講じてから作業を行ってください。

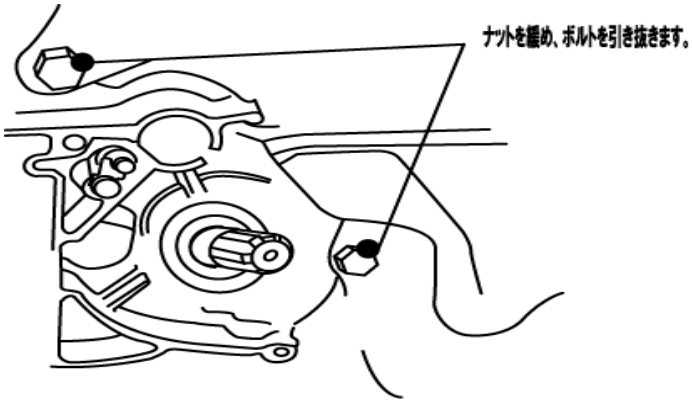
クランクケース上側マウントボルト及び、後ろ側マウントボルトのナットを緩め、シャフトを引き抜きます。

ボルトを引き抜く際は、右図のように、

① 下側エンジンマウントボルトを引き抜きます。

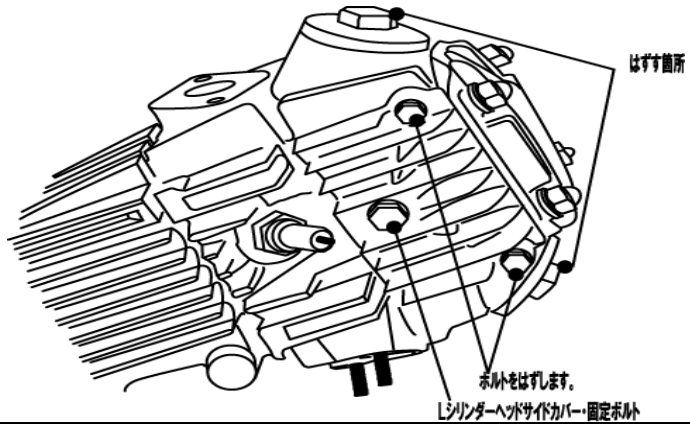
② 上側エンジンマウントボルトを引き抜きます。

上側エンジンマウントボルトを引き抜くと、エンジンが外れます。



8.

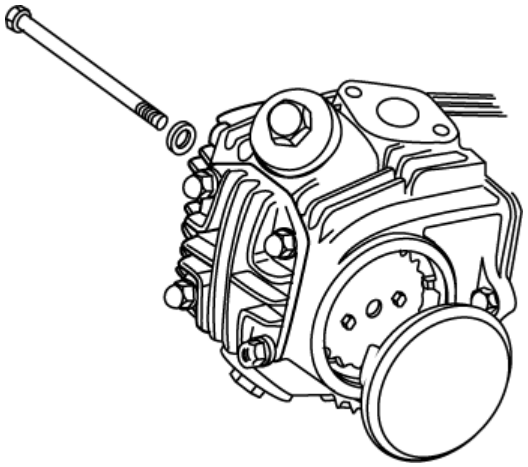
タペットホールカバー・Ｒサイドカバーを固定しているボルトを予め緩めておきます。



９.

【Ｌサイドカバーを外します。】

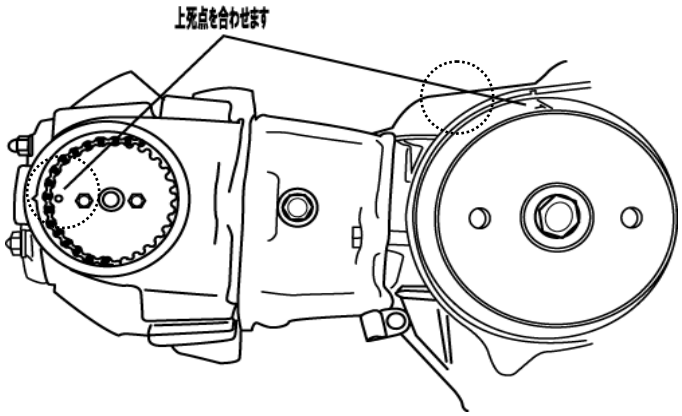
Ｌサイドカバーが貼り付いて外れづらい場合は、固定ボルトをサイドカバーに対しネジ部を半分ほどかかった状態にし、ボルトの頭をプラスティックハンマーでたたくと容易に外す事が出来ます。



１０.

【上死点を合わせます。】

フライホイールの’Ｔ‘マークをクランクケースの上側【右図の位置】切り欠き部に合わせた時に、カムスプロケットの’〇‘マークがシリンダーヘッドの切り欠きに合う位置が、ピストンが一番上に達している位置になります。



１１.

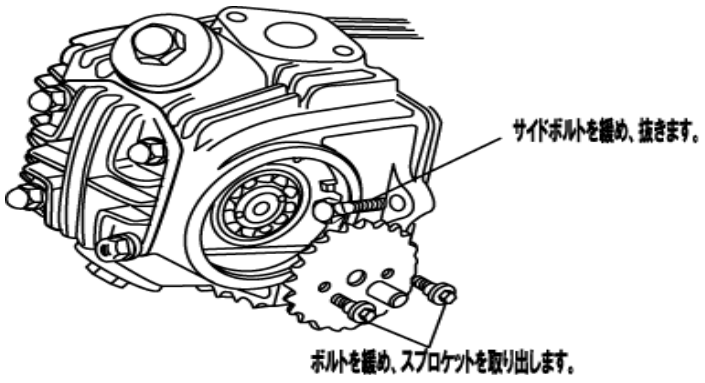
【カムスプロケットを外します。】

カムスプロケットを固定しているボルト【Ｍ５×２本】を外しカムスプロケットごと引き抜きます。

カムスプロケットを外す際は、ボルトを抜いた穴２箇所をラジオペンチでつまみ、手前に引き出すよう作業を行ってください。

その後、サイドボルトを緩めシリンダーヘッドより抜き取ります。

サイドボルトは再使用します。

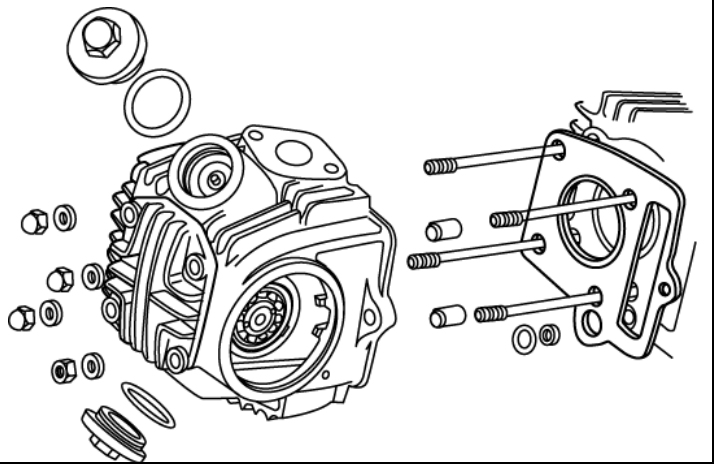


１２.

シリンダーヘッドを締め付けている、袋ナット【３個】・ナット【１個】を対角線に緩め、ワッシャー【スチール３枚・銅１枚】も取り外します。タペットキャップも取り外します。

その後、シリンダーヘッドを引いて抜き取ります。

ガスケットが貼り付いている等で、ヘッドが抜けづらい場合は、プラスティックハンマーで、ヘッド本体を軽く叩きながら、シリンダーヘッドを引き抜いてください。



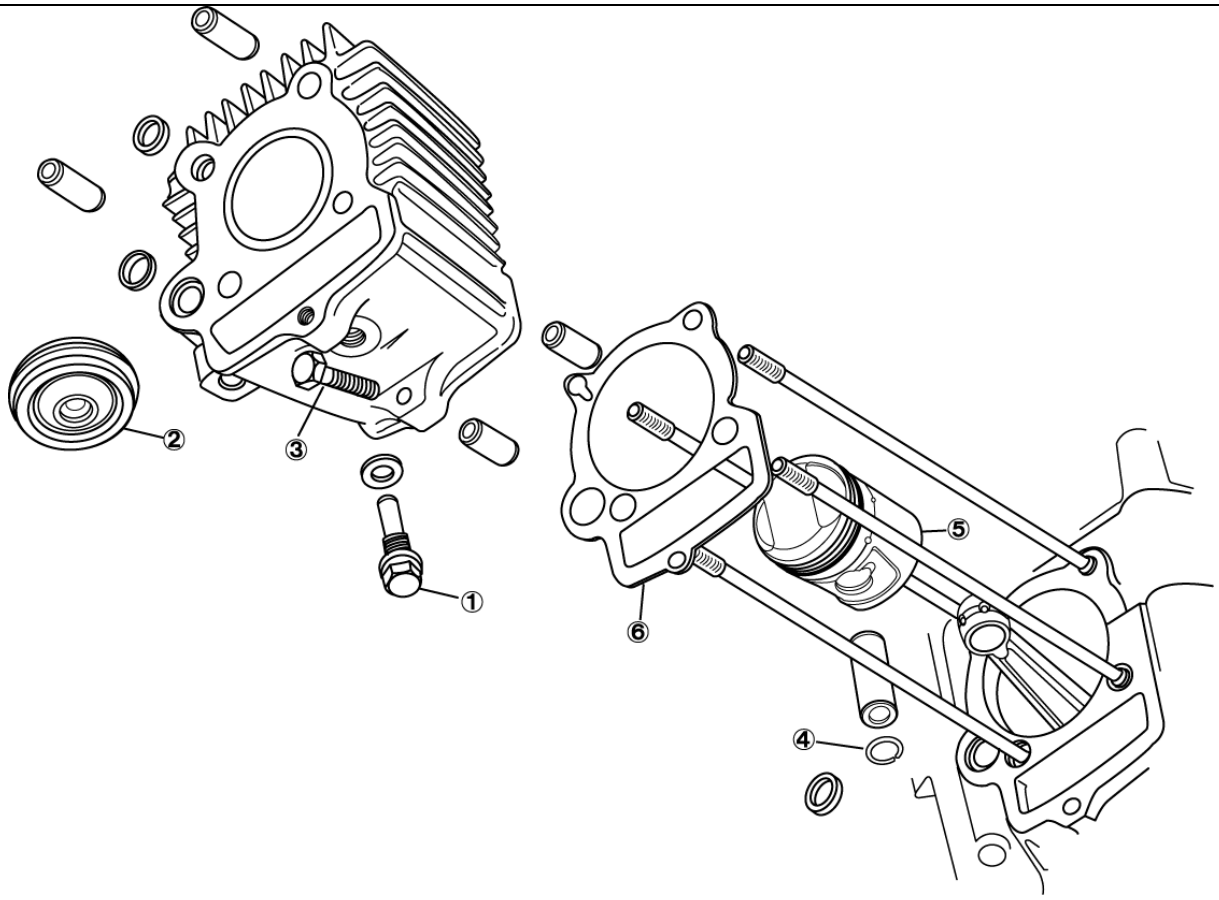
１３.

【シリンダーを抜き取ります。】

①ローラーガイドシャフトを緩め、シリンダーより外します。②ローラーガイドをシリンダーのカムチェーン通路より取り外します。③シリンダーサイドボルト（1 本）を緩め、シリンダーを引き抜きます。この際、ガスケットの貼りつきがあり、困難な場合は、シリンダーをプラスティックハンマーで軽く叩き、引き抜いてください。

クランクケースにウエス【布】をいれ、クランクケース内部に異物が入らないようにし、④ピストンピンサークリップを外し、ピストンピンをピストンから引き抜きます。ピストンがクランクから外れたら、シリンダーベースガスケットをスクレイパーなどできれいにはがしてください。ノックピン、ラバーガスケットも取り外します。

※クランクケース内にガスケットの破片やゴミが入らないよう注意してください。



シリンダー、ヘッドの取り付け

1.

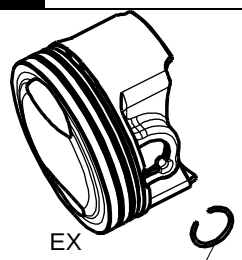
ピストンの片側にサークリップを１個だけ装着します。

クランクにピストンを装着する際に、片方だけ入れておけば、作業がスムーズに運びます。

⚠重要

ピストンピンサークリップが、確実にピストンに装着されている事を確認してください。

又、サークリップの変形・歪みが発生した場合は、そのサークリップの使用は避け、当社補修品番【３１７９６】を使用してください。



ラジオペンチを使用して、片側のみピストンピンサークリップを装着します。

2.

【ピストンリングを装着します。】

リングの名称・仕様は下記のようになります。

①　：**トップリング**

リング外周部分にメッキコーティング【銀/銅色】を採用し、耐磨耗性・フリクションの低減を図っています。

リングの合口部分に「T」又は「N」マークがあります。

リング組み付け時は、上記マークを上側に向け組み付けを行います。

②：セカンドリング

パーカライジング処理【表面に燐酸塩皮膜を作る防錆処理】を採用。
リング表面色：黒色

リングの合口部分に「T」又は「N」マークがあります。

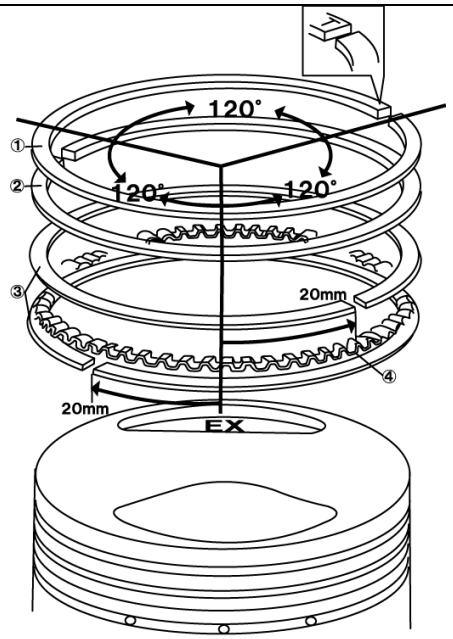
リング組み付け時は、上記マークを上側に向け組み付けを行います。

オイルリング：③サイドレールと④スペーサーで構成。

スペーサーをサイドレールで挟み込むようにして組み付けます。

組み付け方法は、**スペーサーをリング溝へ入れてから、サイドレールをスペーサーの上下へ入れます。**

各リングの組み付け角度は、右図を参照してください。



3.

【ピストンをコネクティングロッドへ組み付けます。】

クランクケースに異物が入らないよう、ウエス等でカバーをし、ＥＸの刻印を下側に向け位置を合わせます。

ピストンピン・ピストンリングに４ｓｔオイルを塗布し、ピストン・コネクティングロッド小端部に通します。

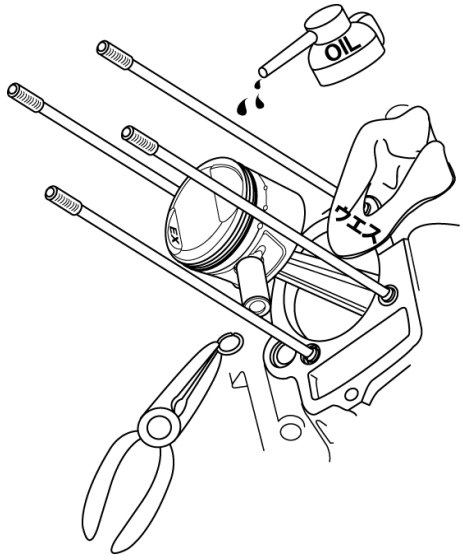
その後、ピストンピンサークリップをピストンに装着します。

⚠重要

ピストンピンサークリップが、確実にピストンに装着されている事を確認してください。

又、サークリップの変形・歪みが発生した場合は、そのサークリップの使用は避け、当社補修品番【３１７９６】を使用してください。

上記の事を怠ると、エンジン始動時にサークリップが外れ、エンジンが壊れてしまいます。



4.

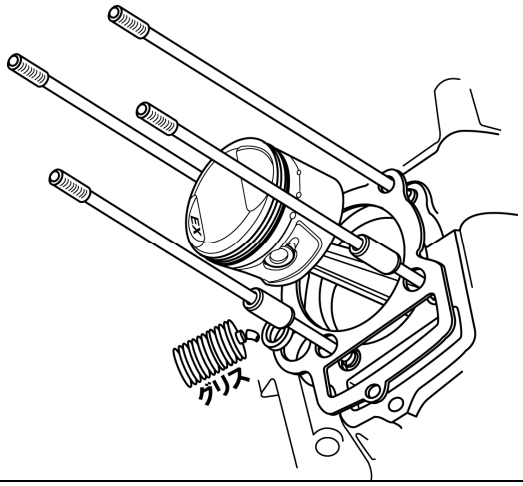
シリンダーベースガスケット(ペーパータイプ：１枚)・ノックピン(Φ８×１２mm：２個)・Oリング(ゴム製・オレンジ色１個)を装着します。

右クランクケース上側スタッドボルト・左クランクケース下側スタッドボルトにノックピンを装着します。

シリンダーベースガスケットを装着し、右図の部分にOリング(ゴム製・オレンジ色１個)装着します。

One Point!

Oリング装着の際は、グリスを塗布し、クランクケースに装着すると、Oリングの脱落防止になり、作業がスムースに行えます。



5.

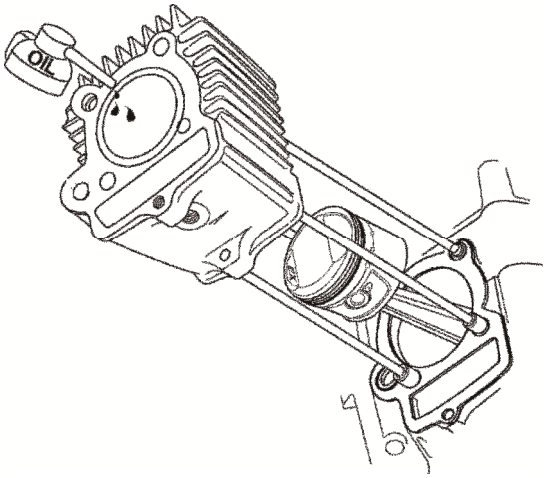
【シリンダーを装着します。】

シリンダー内側に４ｓｔオイルを塗布し、スタッドボルトにシリンダー・ピストンを通します。

シリンダーにピストンを入れる際に、ピストンリングが引っかかりますので、爪の先などでリングを押さえながら、ピストンを装着してください。

One Point!

ピストンリングの装着は、慎重に行ってください。無理にピストンを挿入すると、ピストンリングが破損します。各ピストンリング全周が、シリンダーに挿入されていることを確認しながら作業を行ってください。



6.

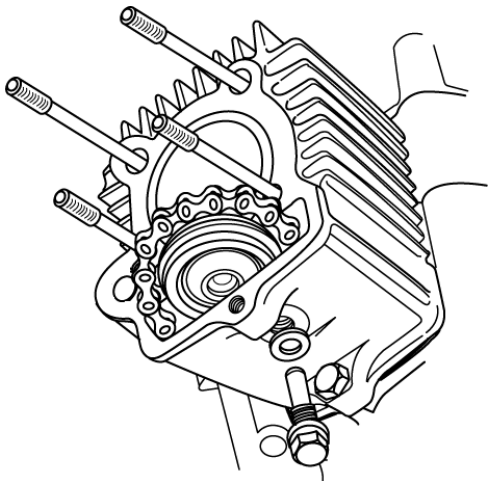
【シリンダーにカムチェーンガイドローラーを装着します。】

シリンダーが抜けないよう、シリンダーサイドボルトでシリンダーを仮留めし、チェーンを引き出し、ガイドローラー固定ボルトにてガイドローラーを装着します。

（後に本締めを行いますので、サイドボルトの本締めは必要ありません。）

■　ガイドローラーボルト締め付けトルク（Nmの場合）

８Nm～１２Nm

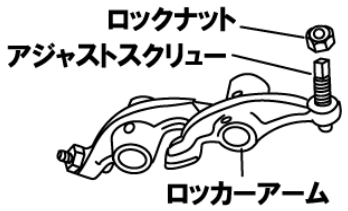


7.

ロッカーアームのロックナットを緩めます。

One Point!

シリンダーヘッド装着後に、タペットクリアランス調整をしますので、この段階では本締めの必要はありません。

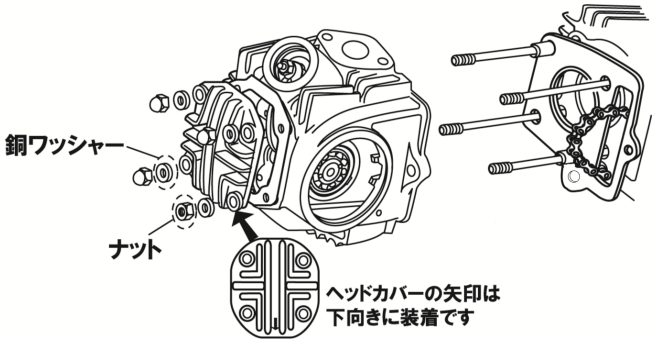


8.

【シリンダーヘッドを装着します。】
ノックピン(Φ８×１４：２個)を右クランクケース上側、左クランクケース下側（Φ８×１４）のスタッドボルトに通し、シリンダーへ差し込みます。
ヘッドガスケット(金属)を装着し、下図の位置に装着します。

※シリンダーとシリンダーヘッドの間にＯリングは不要です。
シリンダーヘッド・ヘッドカバーガスケット・ヘッドカバーの順で装着します。
取外した、シリンダーヘッドを締め付けていた袋ナット３個・ナット１個・スチール製平ワッシャー３枚・銅ワッシャー１枚を使用し、下図の装着箇所へ規定トルクにて締め付けを行ってください。

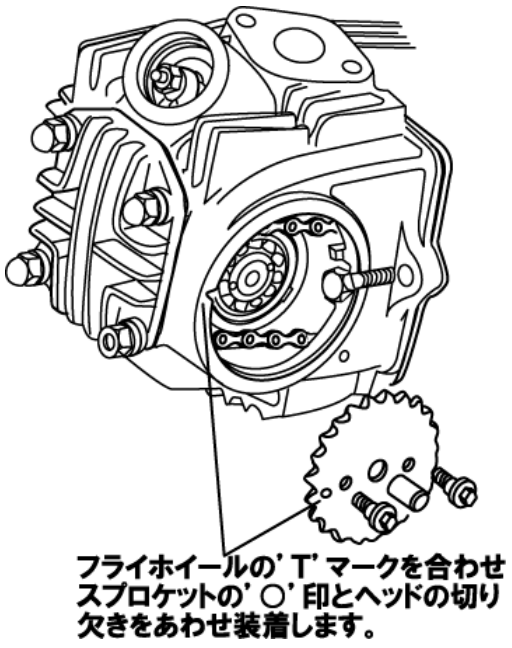
■　シリンダーヘッド締め付けトルク(Nmの場合)
10Nm～１２Nm



9.

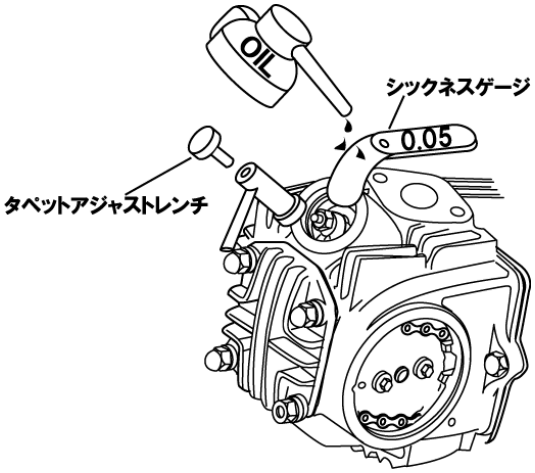
【カムチェーンスプロケットの装着を行います。】
シリンダーヘッド・シリンダーのサイドボルトを規定トルクで締め付けます。
■　サイドボルト締め付けトルク(Nmの場合)
８Nm～１２Nm

カムシャフトの中心にノックピン(Φ８×１２：１個)を組み込みます。
フライホイールの”Ｔ“マークをクランクケース側切り欠きにあわせます。
“Ｔ“マークをあわせたまま、カムチェーンにカムチェーンスプロケットを取り付け、カムチェーンスプロケットの”Ｏ”マークとシリンダーヘッドの切り欠きを合わせ、カムシャフトの位置を調整して、カムチェーンスプロケット固定ボルトを規定トルクで締め付けます。
■　カムチェーンスプロケット締め付けトルク
(Nmの場合)
８Nm～１２Nm



１０.

【タペットクリアランスの調整を行います。】
この作業を行う場合、専用工具が必要になります。
●シックネスゲージ
（品番４４３２５）
●タペットアジャストレンチ
（品番３２４１０）
シックネスゲージの０．０５mm・プレートに４ｓｔオイルを薄く塗布し、アジャストスクリュー先端とインテークｏｒエキゾーストバルブ先端の間にシックネスゲージを挟みこむようにあてがいます。
シックネスゲージをスライドさせながらタペットアジャストレンチでアジャストスクリューを回します。
シックネスゲージをスライドさせながら、アジャストスクリューを回していく中で、シックネスゲージの動きに多少の引っかかりが出てきたポイントが適正なクリアランスになります。
このポイントで、アジャストスクリューのロックナットを規定トルクで固定します。この作業は、インテーク側・エキゾースト側共通の作業です。
■　ロックナット締め付けトルク（Nmの場合）
７Nm～１１Nm
⚠重要
タペットクリアランスが狭すぎたり、広すぎたりした場合、カムシャフトの損傷・ロッカーアームの偏磨耗の原因となります。
適正なクリアランスで設定するよう確認しながら作業を行ってください。

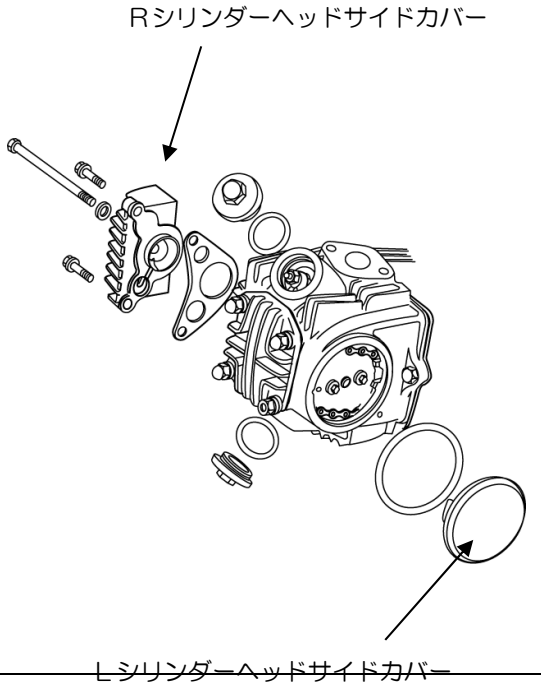


１１.

【シリンダーヘッドサイドカバーの取り付け。】
タペットキャップを規定トルクで取り付けます。
■　タペットキャップ締め付けトルク（Nmの場合）
１０Nm～１４Nm

次に、Rシリンダーヘッドサイドカバーを外し、商品付属のガスケットを使用し、シリンダーヘッドに規定トルクで取り付けます。
■　Rサイドカバーボルト締め付けトルク（Nmの場合）
８Nm～１２Nm

次に、取り外したＬシリンダーヘッドサイドカバーを商品付属のガスケットを使用し、シリンダーヘッドに規定トルクで取り付けます。
■　Ｌサイドカバーボルト締め付けトルク（Nmの場合）
８Nm～１２Nm



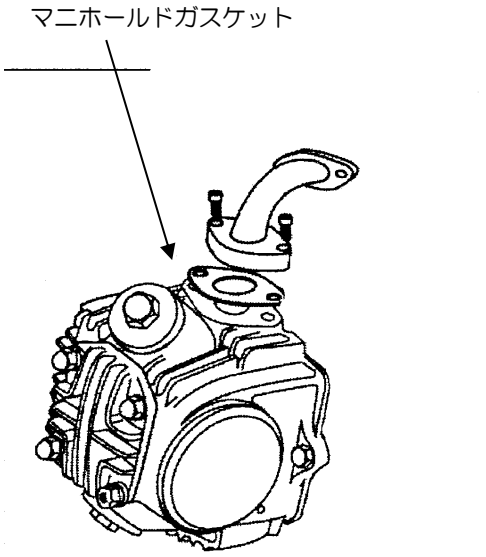
１２.

【マニホールドの装着】

シリンダーヘッドとマニホールドの間にマニホールドガスケットを使用し、純正ボルトで取り付けを行います。

One Point!

ビッグキャブを装着する場合は、ビッグキャブ用マニホールドに合ったマニホールドガスケットを使用して下さい。



１３.

【スパークプラグを交換します。】

排気量が上がり、エンジン出力が増大しているため、スパークプラグはNGK「**CR7HSA**」**に変更**してください。

１４.

【エンジンを車体に搭載します。】

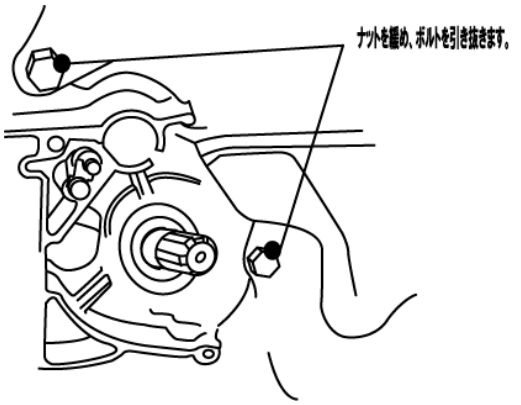
危険防止のため、クランクケース下側に、ジャッキ、又は、丈夫な箱などを置いて、安全策を講じてから作業を行って下さい。

エンジンをフレームのエンジンハンガーに合わせ、上側のエンジンマウントボルトを通します。

次に下側エンジンマウントボルトを通し、上下のエンジンマウントボルトに、ナットを規定トルクで締め付けます。

■　エンジンマウントボルト締め付けトルク（Nmの場合）

２０Nm～２５Nm



１５.

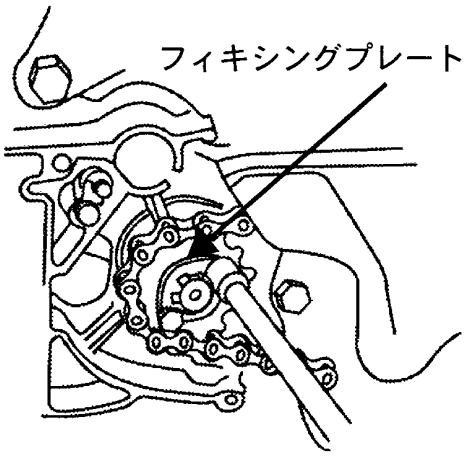
【ドライブスプロケットを装着します。】

ギアを１速に入れた状態でドライブスプロケットをカウンターシャフトに組み付け、フィクシングプレートを嵌め、ボルト２本で固定して下さい。

Ｌクランクケースカバーを元のように取り付けて下さい。

■　フィキシングプレート締め付けボルト締め付けトルク（Nmの場合）

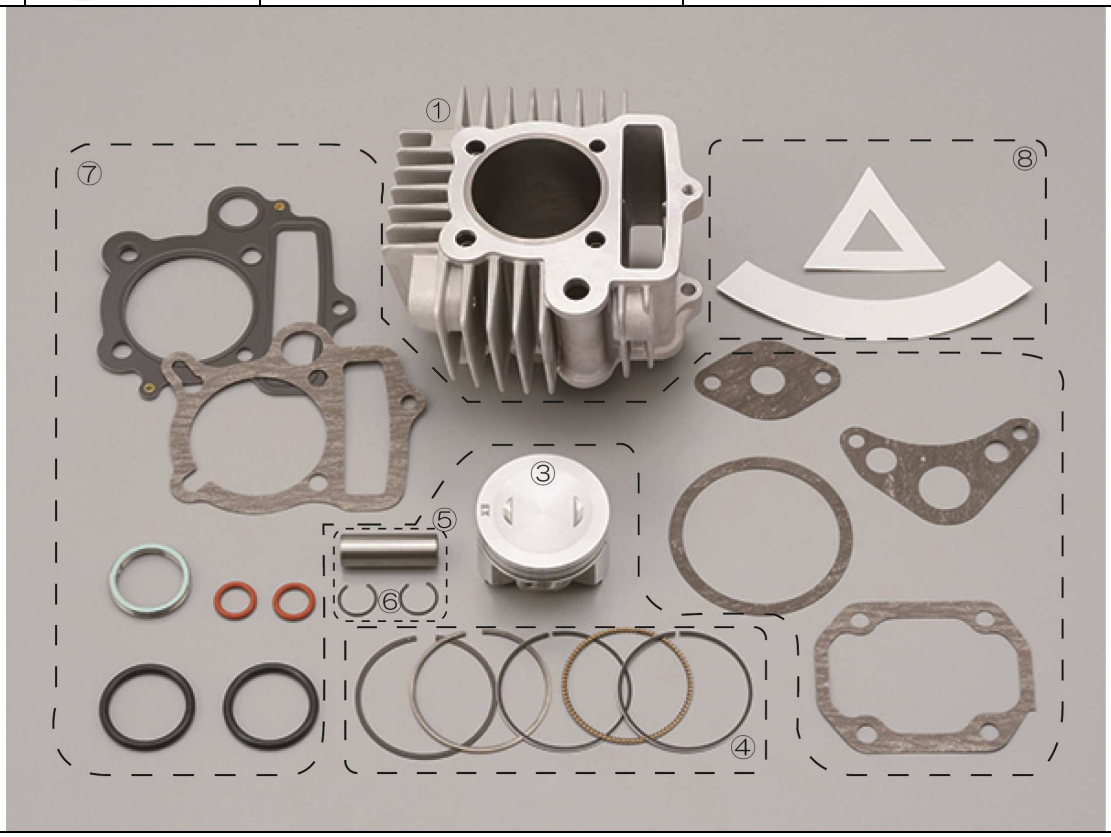
８Nm～１２Nm



- ドリブンギアを変更しない他社の強化クラッチを使用している場合、最高速調整の為ドライブスプロケットを **15** 丁へ交換する必要があります。当社、**1** 次側強化 **3** ディスククラッチキットは **1** 次減速比が高速型になっておりますので、ドライブスプロケットを **15** 丁へ交換する必要はありません。
- ビッグボアキットの装着は以上です。キャブレター・オイルポンプ、マフラー等については、変更が必要となりますので、装着の際は、交換された商品の取扱説明書をご参照ください

補修品

番号	品番	品名	内容
①	19997	シリンダー（88ｃｃ）	アルミシリンダーｘ1
②	74462	ピストンＫＩＴ（88ｃｃ）	③ピストン単体ｘ1 ④ピストンリングセットｘ1 ⑤ピストンピンｘ1、サークリップｘ2 ⑦ガスケットセットｘ1
③	74463	ピストン単体（88ｃｃ）	ピストンｘ1
④	39185	ピストンリングセット（88ｃｃ）	トップリングｘ1 セカンドリングｘ1 サイドレールｘ1 スペーサーｘ2
⑤	76785	ピストンピン&サークリップ	ピストンピンｘ1 サークリップｘ2
⑥	31796	サークリップセット	ピストンサークリップｘ2
⑦	61683	ガスケットセット	ヘッドガスケットｘ1 ベースガスケットｘ1 マニホールドガスケットｘ1 Ｌサイドカバーガスケットｘ1 Ｒサイドカバーガスケットｘ1 Ｏリング黒ｘ2 Ｏリング橙ｘ2 EXガスケットｘ1
⑧	37256	原付２種用ステッカーセット	



東証JASDAQ上場 株式会社デイトナ　〒437-0226　静岡県周智郡森町一宮 4805
URL: https://www.daytona.co.jp
◎デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」0120-60-4955 まで

取扱説明書

DAYTONA
R95634①/⑧

*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。
*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。
*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

	適応車種	商品NO.
1 次側強化 3 枚クラッチキット	別記	95634

■ご使用前に必ず、ご確認ください■

※ 取扱説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。
※ 商品の保証については保証書裏面の保証規定に沿って行っております。保証内容をご理解のうえ、この取扱説明書と一緒に保管してください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

⚠警告 要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
⚠注意 要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	禁止	禁止の行為であることを告げるものです。
法令違反	条件次第では法令違反となることを告げるものです。	その他	その他の警告及び注意を告げるものです。

⚠警告

禁止
- 締め切ったガレージ内部や通気の悪い場所で長時間エンジンをかけないでください。一酸化炭素中毒になる恐れがあります。
- ガソリンは非常に引火しやすいため、作業場所は一切の火気をさけてください。また、蒸発（気化）したガソリンは爆発の危険もあるので、通気の良い場所で作業を行ってください。
- この商品に、不用意に曲げ・切削・溶接等の加工を行った場合、重大な事故につながる恐れがあります。商品には指定以外の加工を施さないでください。
- この商品は、記載されている適応車種以外の車両には使用しないでください。

実施
- 作業は、車両を安定して支えられるスタンド等を用意して安全を確保したうえで行ってください。
- 商品を取り付ける際、使用する純正部品および車両各部に欠損・損傷がみられた場合はその部品の再使用を避け、新しい部品に交換してください。そのままご使用になられますと、重大な事故につながる場合があります。

⚠注意

実施
- この商品の取り付けには別途ホンダ純正のサービスマニュアルをご用意していただき、確実な作業を行ってください。また、この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。適切な工具の準備が不十分であったり、または取り付け経験が無かったりする場合は、技術や経験を有したショップへ作業を依頼されることをお勧めいたします。
- 取り付けに入る前に必ず安全を確保した上で作業を行ってください。
- 作業を行う際は、必ずエンジンやマフラーが冷えている状態で行ってください。熱い状態で作業を行うと、火傷を負う原因となります。
- 取り付けは確実に行ってください。又走行中ネジ部等緩む事のないように、規定トルクで確実に締め付けてください。

実施

- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意してから作業を行ってください。不適切な工具で作業を行うと部品を破損したり、ケガをしたりする可能性があります。
- ボルト・ナット類の締め付けはトルクレンチを使用して、必ずそれぞれのサイズに合った規定の締め付けトルクで締め付けてください。
- 取り付け後約１００ｋｍ走行しましたら各部を点検し、ネジの増し締め確認をおこなってください。その後は約５００ｋｍ毎に必ず点検を行ってください。
- 部品や車両には、エッジや突起がある場合があります。作業は手を保護して行ってください。
- ハイパワーエンジン（111ｃｃ以上、又はツインカムヘッド、ダイナヘッド、TAKEGAWA スーパーヘッド、KITACO ウルトラＳＥヘッド等）に装着した場合、クラッチの滑り、クラッチハウジングの破損が起こる可能性があります。
- 適合エンジンにおいても装着部品の組み合わせによっては想定馬力を超えるため、クラッチの摩耗が進んだり、破損する場合が御座います。100ｃｃ以上の排気量の場合は 1 次側クラッチで対応できる限界の排気量となります。（あくまで後輪出力 12 馬力程度が対応できる限界となります。）予め、ご了承ください。
- 当社指定回転数（ＭＡＸ10,000ｒｐｍ）を超えて使用した場合、クラッチ周辺パーツの破損につながる恐れがあります。必ず指定回転数を守って使用してください。
- この商品はノーマルと同じクラッチのストローク量（1.5mm）のなかで、３枚分のフリクションプレートとクラッチプレートを収めているため、ストローク量に余裕がございません。クラッチレバーの遊びを多く取ると、クラッチが切れなくなりますので注意してください。

法令違反

- 一般公道では、道路交通法に則した制限速度に準じた運行を行ってください。一般公道の制限速度を超える速度で走行した場合、ライダー自身が道路交通法（速度超過）によって罰せられます。

その他

- この商品あるいはこの商品を取り付けたオートバイを第三者へ譲渡する場合には、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。
- 補修部品をお求めの際などに必要になりますので、この取扱説明書は大切に保管してください。
- この商品は、予告なしに価格や仕様の変更をする場合があります。また、本文中に紹介した商品についても同様です。あらかじめご了承ください。
- 走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を点検してください。
- ご本人以外が取り付けを行う場合、取り付けをされる方（販売店も含む）は、取り付け完了後各部の緩み、不具合等点検後、正常な作動の確認と危険箇所（バリ、突起物）無きことを確認のうえ、注意事項を説明しこの説明書も必ず一緒にお客様へお渡しください。
- レース等、競技目的の使用は自己責任にて、保証の対象外であることをご了承のうえ使用してください。
- マニュアルクラッチ車専用です。遠心クラッチの車両には取り付けできません。

適合車種

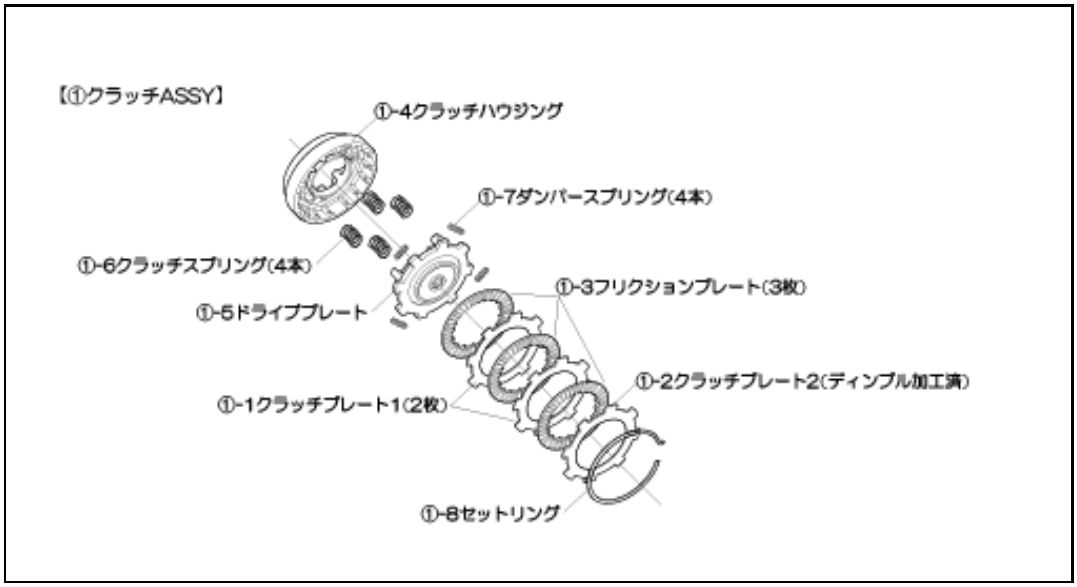
車種	型式	車体番号	年式
モンキー	Z50J/AB27	Z50J-1300017～ AB27-1000001～	‘78～’07
ゴリラ	Z50J/AB27	Z50J-1300027～ AB27-1000001～	‘78～’04
モンキーバハ	Z50J	Z50J-1700001～	‘91～’93
モンキーR	AB22	AB22-1000017～	‘87
モンキーRT	AB22	AB22-1007601～	‘88
DAX（6V）	ST50	6V マニュアルクラッチ車	－
JAZZ	AC09	AC09-1000030～	‘86～’88
マグナ 50	AC13	AC13-1000010～	‘95～’04
CD50	CD50	CD50-1300001～	’79～’99
ベンリーCL50	CD50	CD50-4000001～	‘97

本商品の特徴

- 対応エンジンは<u>ノーマル～110ｃｃハイパーヘッド/TAKEGAWA レギュラーヘッド 106ｃｃ相当まで対応</u>します。
- プライマリードライブギヤ/ドリブンギヤの丁数が変わり、1 次減速比が最高速型（16 丁/69 丁⇒18 丁/67 丁）になります。(当社 2 次側クラッチと同じ 1 次減速比)
- クラッチアウターカバースクリューはナメにくい六角穴付きタイプが付属します。

商品内容

NO	パーツ名	サイズ (mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ (mm)	数量
①	クラッチ ASSY		1	②	クラッチセンター		1
①-1	クラッチプレート 1	組込済み	2	③	クラッチセンターガイド		1
①-2	クラッチプレート 2（ﾃﾞｨﾝﾌﾟﾙ加工済）	組込済み	1	④	プライマリードライブキヤ	18 丁	1
①-3	フリクションプレート	組込済み	3	⑤	プライマリードリブンギヤ	67 丁	1
①-4	クラッチハウジング	組込済み	1	⑥	ロックワッシャー		1
①-5	ドライブプレート	組込済み	1	⑦	R クランケースカバーガスケット		1
①-6	クラッチスプリング	組込済み	4	⑧	クラッチアウターカバーガスケット		1
①-7	ダンパースプリング	組込済み	4	⑨	クラッチアウターカバースクリュー		4
①-8	セットリング	組込済み	1				



適合エンジン

〈適合エンジン〉

- ◆ ノーマルヘッド 50～88ｃｃ、ハイパーヘッド 88～110ｃｃ（後輪出力 12ｐｓ程度）まで適合します。
- ◆ タケガワ社製の場合、レギュラーヘッド 106ｃｃまで適合します。
- ◆ 後輪出力で 12ｐｓ程度がこのクラッチで耐えうる限界となります。

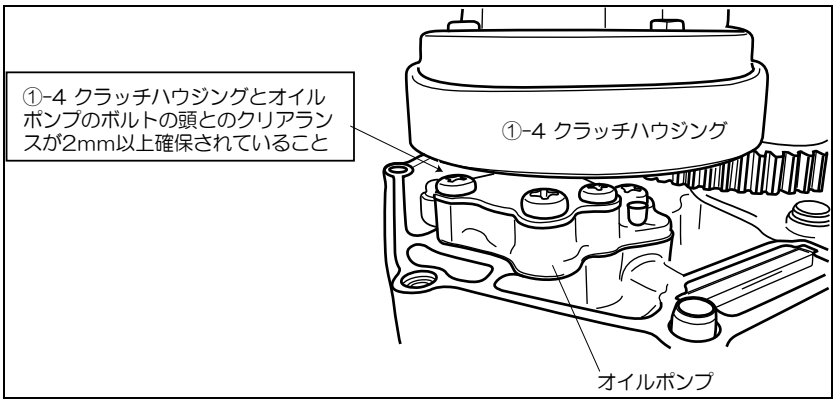
〈不適合エンジン〉

- ◆ ハイパワーエンジン（111ｃｃ以上、又はツインカムヘッド、ダイナヘッド、TAKEGAWA スーパーヘッド及び４V、KITAKO ウルトラＳＥヘッド等）には装着できません。装着した場合、クラッチの滑り、クラッチハウジングの破損が起こる可能性があります。

適合オイルポンプ

品番	商品名	本体価格（税抜）	備考
74670	メガオイルポンプ	￥3,800	6V モンキー比 3.8 倍

＊ クラッチハウジングとオイルポンプの固定ボルトとのクリアランスが狭くなります。他社製オイルポンプ組付け時には以下のクリアランスが 2mm以上あることを確認してください。2mm以下になる場合、そのオイルポンプは使用できませんので、当社製のオイルポンプに変更してください。



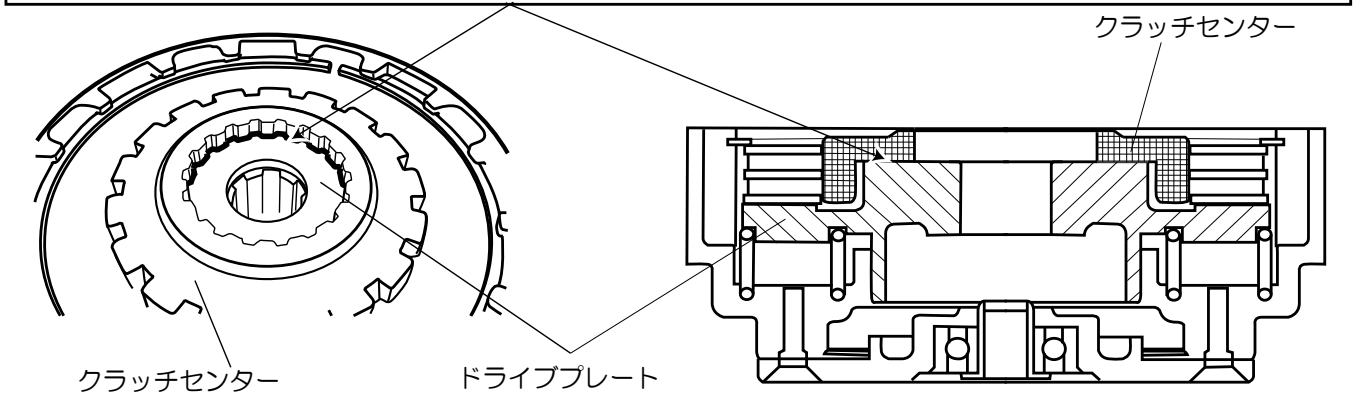
取り付けの前に

⚠注意

このＫＩＴの取り付けにおいて注意点を守らないと、クラッチが切れないトラブルが発生します。以下のように組付けをしてください。

ドライブプレートとクラッチセンターの隙間がわずかでもあると、クラッチが切れなくなります。組付け前に必ずここが密着している状態で組付けを行ってください。

万が一、隙間がある場合はクラッチセンターが奥まで入っていない状態です。この場合は内部のフリクションプレートをずらしてクラッチセンターがしっかりはまり込むようにしてください。



取付方法

【組み付け前準備】

※エンジンの分解、組み立て、ノーマルクラッチの分解手順は、ホンダ、サービスマニュアルを参考に行ってください。

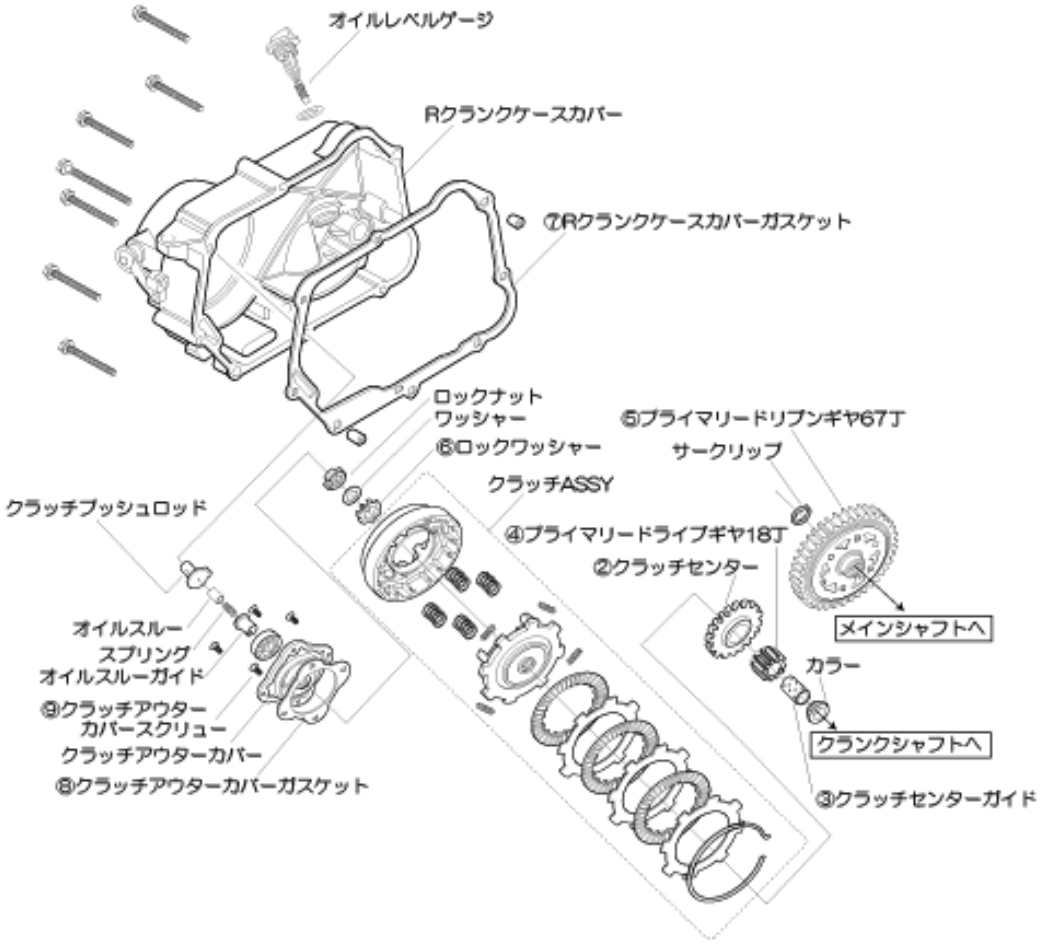
1. エンジンオイルを抜き取ります。
2. クラッチワイヤーを外します。
3. キックペダルを取り外します。
4. ステップホルダーを取り外すか、エンジン下側のステップホルダー取り付けボルトを緩めます。
5. ８本のボルトを外し、Ｒクランクケースカバーを取り外します。
6. クラッチアウターカバースクリューを外します。

⚠注意

ねじの頭は非常に滑めやすいので注意して作業してください。

7. ロックワッシャーの爪を起こし、クラッチホルダー（ホンダ純正工具）と 14mmクラッチロックナットレンチ（ホンダ純正工具を使用して、ロックナットを緩めます。
8. クランクシャフトからクラッチ ASSY、プライマリードライブギヤ、クラッチセンターガイド、カラーを取り外します。
9. メインシャフトからサークリップを外し、プライマリードリブンギヤを外します。

【純正クラッチ分解図】



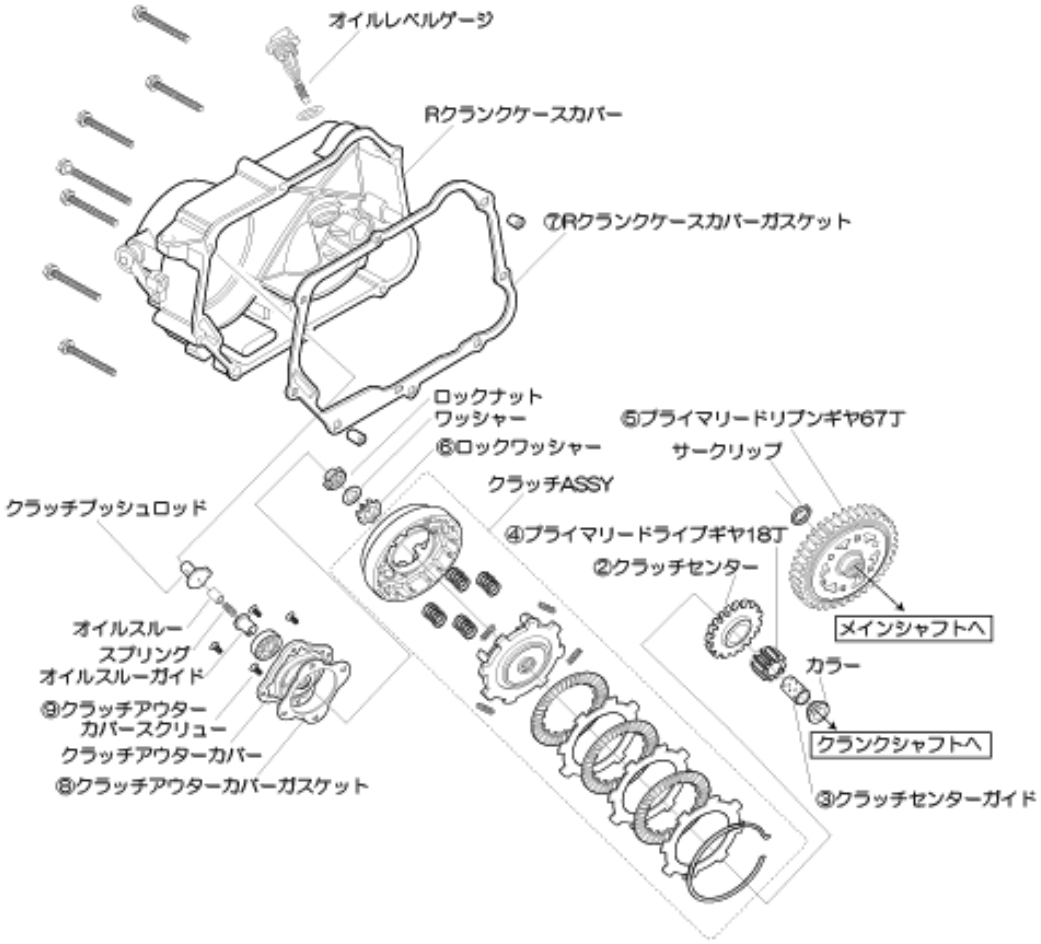
【組み付け】

10. メインシャフトに付属の⑤プライマリードリブンギヤをサークリップで組付けます。
11. クランクシャフトにカラー、③クラッチセンターガイド、④プライマリードライブギヤ、②クラッチセンター、①クラッチ ASSY を組付け、ロックナットレンチを使用して締め付けます。

    ロックナット：締め付けトルク：42N·m
12. ⑥ロックワッシャーの爪を、ロックナットの切り欠きに合わせて折り曲げます。
13. ⑧クラッチアウターカバーガスケット、⑨クラッチアウターカバースクリューを使用してクラッチアウターカバーを取り付けます。

    クラッチアウターカバースクリュー：締め付けトルク：5N·m
14. クラッチアウターカバーに純正のリフターベアリング、オイルスルーガイド、オイルスルースプリング、オイルスルーを取り付けます。
15. ノックピン、⑦R クランクケースカバーガスケットを使用しRクランクケースを取り付けます。

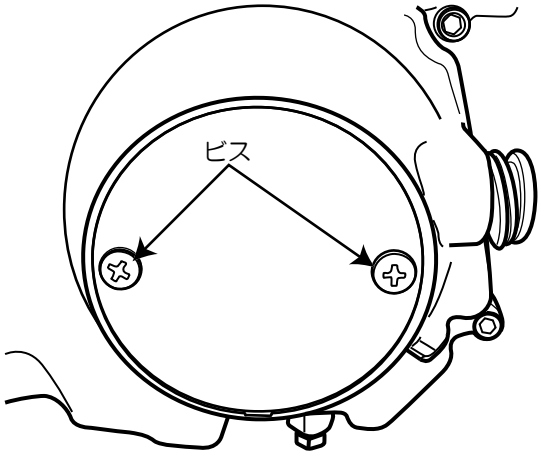
    クランクケースカバーボルト：締め付けトルク：8～12N·m



16. キックペダル、クラッチケーブル、ステップホルダーを取り付け、規定量のオイルを入れ注入してください。

【クラッチの遊び調整】

17. ビス２本を外し、クラッチリフターカバーを取り外します。

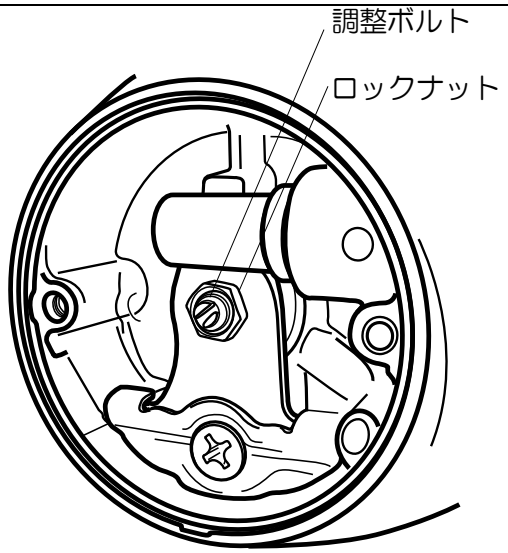


18. ロックナットを緩め、調整ボルトを緩めます。

19. アジャストボルトを手締めで締め込み、締めこむ感触が重くなった所で一旦止めます。この重くなった位置から、1/8 回転緩め、ロックナットで固定します。この位置が標準位置です。

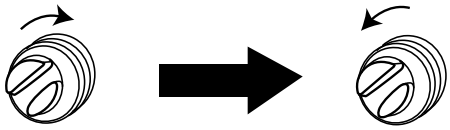
⚠注意

- 構造上、ギヤが入った状態で、クラッチを握ると、リヤタイヤが回りにくくクラッチが切れない感触がありますが、通常の走行でギヤが入るようでしたら問題御座いません。
- 調整位置でクラッチの遊びがお好みでない場合は、任意に位置調整を行ってください。調整ナットを締めると遊びが減り、調整ナットを緩めると遊びが増えます。
- ノーマルと同じクラッチのストローク量（1.5mm）のなかで、3 枚分のフリクションプレートとクラッチプレートを収めているため、ストローク量に余裕がございません。クラッチレバーの遊びを多く取ると、クラッチが切れなくなりますので注意してください。



①、調整ナットを抵抗がある位置まで締め込みます。

②、①の位置から調整ナットを1/8回転緩めた位置が標準位置です。



20. 外した部品を元に戻します。

21. エンジンを始動し、異音やオイル漏れが無いことを確認し、作業は終了です。

補修部品

商品名	品番	本体価格（税抜）	備考
クラッチプレートセット	69421	￥1,500	3 枚セット
フリクションプレートセット	69422	￥1,800	3 枚セット
クラッチハウジング	69423	￥2,500	
ドライブプレート	69424	￥1000	
クラッチスプリングセット	69425	￥1000	4 個セット
ダンパースプリングセット	69426	￥500	4 個セット
セットリング	69427	￥300	
クラッチセンター	69428	￥2,000	
クラッチセンターガイド	69429	￥500	
プライマリードライブキヤ	69430	￥2,000	
プライマリードリブンギヤ	69431	￥2,500	
ロックワッシャー	69432	￥200	
R クランケースカバーガスケット	28324	￥480	
クラッチアウターカバーガスケット	28323	￥200	
クラッチアウターカバースクリュー	29364	￥200	4 本セット

東証JASDAQ上場
株式会社 デイトナ 〒437-0226　静岡県周智郡森町一宮 4805
URL: http://www.daytona.co.jp
◎デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」0120-60-4955 まで

取扱説明書

DAYTONA corp.
S74670①/⑧

*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。
*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。
*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

メガオイルポンプ	適応車種	商品NO.
	別記	74670

■ご使用前に必ずご確認ください■

※ 取扱説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。
※ 商品の保証については保証書裏面の保証規定に沿って行っております。保証内容をご理解のうえ、この取扱説明書と一緒に保管してください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

⚠警告	要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
⚠注意	要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	禁止	禁止の行為であることを告げるものです。
火気厳禁	表記の禁止行為を告げるものです。	その他	その他の警告及び注意を告げるものです。
法令違反	条件次第では法令違反となることを告げるものです。		

⚠警告

禁止	• 締め切ったガレージ内部や通気の悪い場所で長時間エンジンをかけないでください。一酸化炭素中毒になる恐れがあります。 • ガソリンは非常に引火しやすいため、作業場所は一切の火気をさけてください。また、蒸発（気化）したガソリンは爆発の危険もあるので、通気の良い場所で作業を行ってください。 • この商品に、不用意に曲げ・切削・溶接等の加工を行った場合、重大な事故につながる恐れがあります。商品には指定以外の加工を施さないでください。 • この商品は、記載されている適応車種以外の車両には使用しないでください。 • 不用意に分解した場合、オイルポンプシャフトがスムーズに回らなくなることがあります。その状態でエンジンに組み込むと、エンジンに重大な損傷を及ぼす可能性があります。 • **このオイルポンプは分解禁止です。分解されたオイルポンプによる不具合については、デイトナは一切の責を負いません。**

2013/09/26

実施	• **作業は、車両を安定して支えられるスタンド等を用意して安全を確保したうえで行ってください。** • **商品を取り付ける際、使用する純正部品および車両各部に欠損・損傷がみられた場合はその部品の再使用を避け、新しい部品に交換してください。そのままご使用になられますと、重大な事故につながる恐れがあります。**
その他	• 走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を点検してください。

⚠注意

実施	• この商品の取り付けには別途ホンダ純正のサービスマニュアルをご用意していただき、確実な作業を行ってください。また、この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。適切な工具の準備が不十分であったり、または取り付け経験が無かったりする場合は、技術や経験を有したショップへ作業を依頼されることをお勧めいたします。 • 本説明書に記載されていない内容については、ホンダ純正のサービスマニュアルに従って作業を行ってください。 • 作業を行う際は、必ずエンジンやマフラーが冷えている状態で行ってください。熱い状態で作業を行うと、火傷を負う原因となります。 • 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意してから作業を行ってください。不適切な工具で作業を行うと、部品を破損したりケガをしたりする可能性があります。 • ボルト・ナット類の締め付けはトルクレンチを使用して、必ずそれぞれのサイズに合った規定の締め付けトルクで締め付けてください。 • 取り付け後約１００ｋｍ走行しましたら各部を点検し、ネジの増し締め確認をおこなってください。その後は約５００ｋｍ毎に必ず点検を行ってください。 • 部品や車両には、エッジや突起がある場合があります。作業は手を保護して行ってください。 • クランクケース下部にあるストレーナ（金網）のチェックとメンテナンスは定期的に行ってください。
法令違反	• 一般公道では、道路交通法に則した制限速度に準じた運行を行ってください。一般公道を制限速度を超える速度で走行した場合、ライダー自身が道路交通法（速度超過）によって罰せられます。
その他	• この商品あるいはこの商品を取り付けたオートバイを第三者へ譲渡する場合には、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。 • 補修部品をお求めの際などに必要になりますので、この取扱説明書は大切に保管してください。 • この商品は、予告なしに価格や仕様の変更をする場合があります。また、本文中に紹介した商品についても同様です。あらかじめご了承ください。 • ご本人以外が取り付けを行う場合、取り付けをされる方（販売店も含む）は、取り付け完了後各部の緩み、不具合等点検後、正常な作動の確認と危険箇所（バリ、突起物）無きことを確認のうえ、注意事項を説明しこの取扱説明書も必ず一緒にお客様へお渡しください。 • **レース等、競技目的の使用は自己責任にて、保証の対象外であることをご了承のうえ使用してください。**

□　本商品の特徴　□

- モンキー系 12V エンジン用の大容量オイルポンプです。
- オイルポンプ容量（トロコイドロータ厚み）が、12V 純正オイルポンプに対して約 2.3 倍、６Ｖ比で 3.7 倍です。
- 排気量アップやオイルクーラー装着などにも対応できる大容量です。

□　商品内容　□

NO	パーツ名	サイズ (mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ (mm)	数量
①	オイルポンプ ASSY		1	③	六角穴付ボタンボルト	M6x25	1
②	ガスケット		1	④	六角穴付ボタンボルト	M6x15	2

□　適合車種　□

適合車種	型式	フレームナンバー
モンキー/ゴリラ（12V）	Z50JN/P/S/T/V/W/X/Y	Ｚ50Ｊ-2000001～
	Z50J1/2/4/5	ＡＢ27-1000001～
モンキーR モンキーＲＴ	Z50JRH Z50JRJ-2	ＡＢ22-1000017～ ＡＢ22-1007601～
モンキーバハ	Z50JM/N/P	Ｚ50Ｊ-1700001～
JAZZ	CA50G/J/N/P/S/H2/J2/LG	AC09-1000030～
マグナ 50	MG50S/X/1/2/3/4	AC13-1000010～
ベンリー50S	CD50ST	CD50-2200005～
ベンリーCL50	CL50V	CD50-4000001～
CD50	CD50E/F/H/N/P/S	CD50-1500001～

- 遠心クラッチの車両はクラッチのストロークが足りなくなるため、取付けできません。マニュアルクラッチのみ適合します。
- 12V の車両のみ適合です。６Ｖ車のクランクケースはオイル通路が異なりますので適合しません。

□　取付方法　□

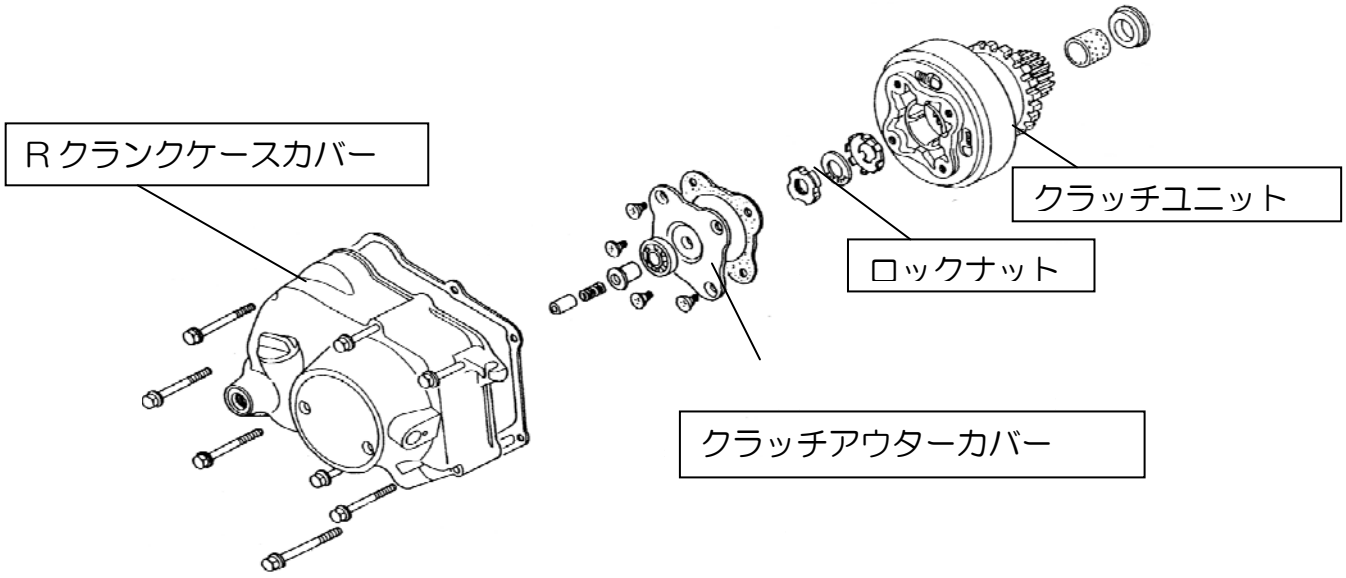
取り付け前に、商品の内容をご確認ください。
エンジンおよびマフラーが冷えていることを確認して作業を開始してください。
詳細についてはホンダ純正サービスマニュアルを用意し、参照のうえ作業を行ってください。

クランクケースのエンジンオイル通路オリフィスを拡大加工する場合は、シリンダーヘッドおよびシリンダーの取り外しが必要になります。その場合、エンジン脱着が必要になります。
本説明書ではステップやマフラーの取り外し等のエンジン脱着手順については明記いたしません。ホンダ純正サービスマニュアルおよびご使用パーツの取扱説明書を参照してください。
また、エンジンオイルは事前に抜き取ってください。

1　クラッチの取り外し

※手順は純正クラッチもしくは１次側強化クラッチ仕様のエンジンとして説明しています。詳細については純正サービスマニュアルか、ご使用のクラッチキットの取り扱い説明書の手順をご確認ください。

1-1. キックペダルを取り外します。
1-2. R クランクケースカバー（クラッチカバー）を固定している M6 ボルトを全て取り外し、R クランクケースカバーを取り外します。
1-3. R ケースカバーガスケットとノックピンを取り外します。
1-4. クラッチアウターカバーを固定している皿ボルト４本を緩め、クラッチアウターカバーを取り外します。皿ボルトは非常に舐めやすいので、十分に注意してください。
1-5. クラッチの中心のあるロックナットを緩めて取り外します。
1-6. クラッチユニットをクランクシャフトから抜き取ります。

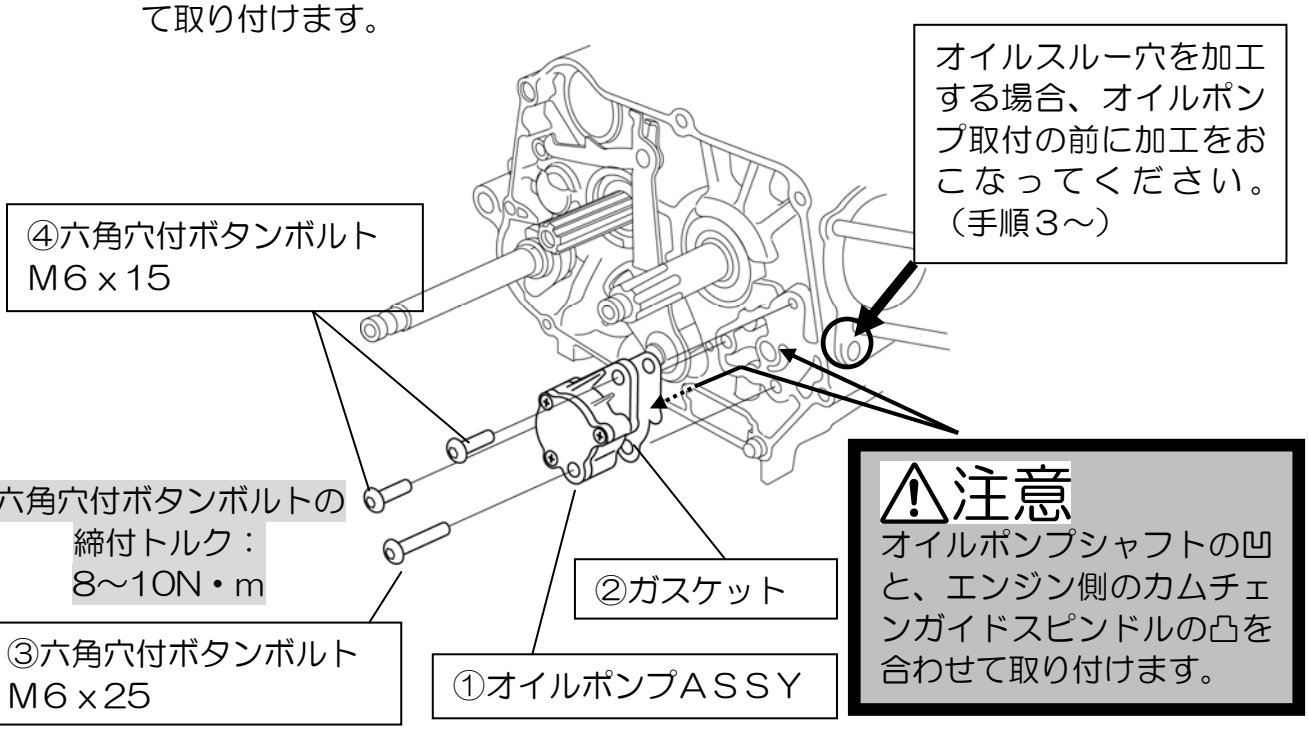


2 オイルポンプの交換

※クランクケースのオイルスルー穴拡大加工をする場合は、手順３を参照に加工をおこなった後、切削屑を完全に取り除いてからオイルポンプを交換してください。

2-1 パンスクリュー（M6/3本）を緩めてオイルポンプＡＳＳＹを取り外します。

2-2 ①オイルポンプＡＳＳＹ、②ガスケットを、③④の六角穴付ボタンボルトを使用して取り付けます。



3 クランクケースオリフィス穴の拡大加工

- ✧ シリンダーの分解、組み立て詳細については純正サービスマニュアルか、装着されているビッグボアキットの取扱説明書の手順をご確認ください。
- ✧ すでにオイルスルー穴を加工済みのクランクケースに取り付ける際には、この手順が必要ありません。手順４へ進みます。

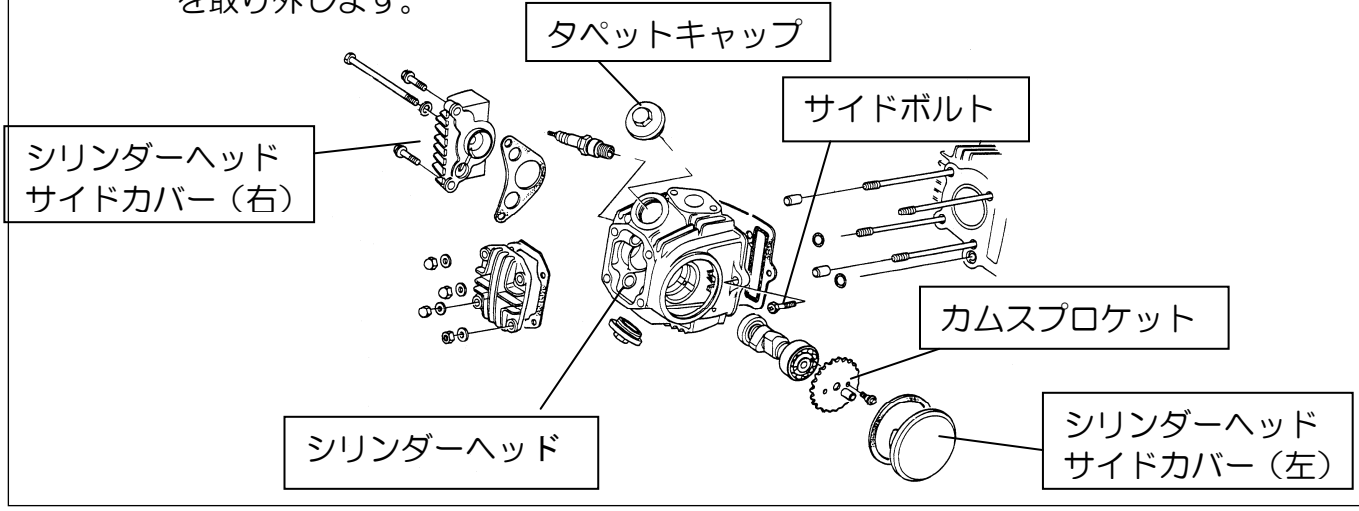
3-1. シリンダーヘッドサイドカバー（右）を固定している長い M６ボルト 3 本を緩め、シリンダーヘッドサイドカバーを左右とも取り外します。

3-2. タペットキャップ（IN/EX）２個を取り外します。

3-3. フライホイールを回して圧縮上死点を合わせます。

3-4. カムスプロケット固定ボルトを緩めて、カムスプロケットを取り外します。

3-5. シリンダーヘッドを固定しているナット（M6/4 個）およびワッシャ（４枚）、シリンダーヘッドとシリンダーをつないでいるサイドボルトを緩め、シリンダーヘッドを取り外します。



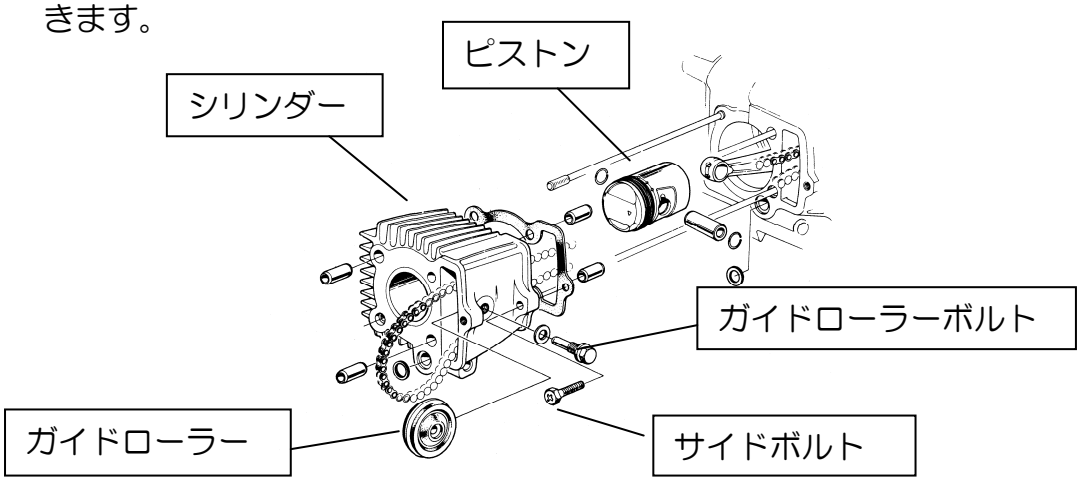
3-6. シリンダー側面にあるカムチェーンガイドローラボルトを取り外し、カムチェーンガイドローラを取り外します。

3-7. シリンダーからヘッドガスケット、Oリング、ノックピンを取り外します。

3-8. サイドボルトを取り外し、シリンダーを抜き取ります。

3-9. シリンダベースガスケット、Oリングを取り外します。

3-10.切削屑が入らないように、ピストンおよびコンロッド周囲をウエス等で保護しておきます。



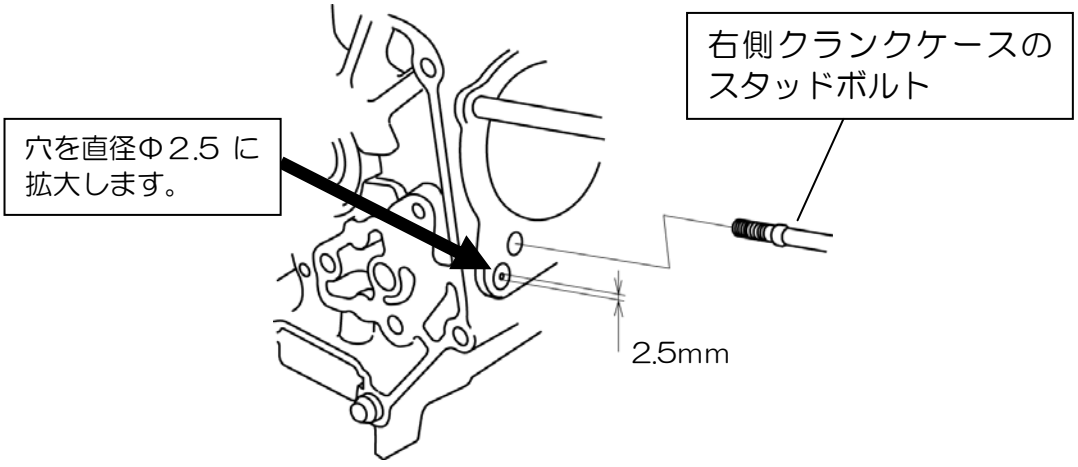
3-11　右側クランクケースのスタッドボルトのうち、下側のスタッドボルトを取り外します。

※スタッドボルト取り外しについては、スタッドボルトプーラーを使用するか、六角ナット２個を使用してナット同士を締め付け、その状態でスタッドボルトを緩めて取り外します。

3-12　右の図の位置にある穴を、電動ドリルを使用してΦ2.5 に拡大加工します。

※この商品にドリルは付属していません。

※切削屑がエンジン内部に侵入しないように、ウエスやガムテープで処理しておいてください。



⚠注意

加工が終わったら、切削屑を必ず完全に取り除いてください。切削屑が残っていますと、エンジントラブルの原因になります。

3-13　手順 3-11 で取り外したスタッドボルトを、元どおり取り付けます。

3-14　シリンダー、シリンダーヘッドを組み立てます。

✧ ガスケット類は別途ご用意ください。

✧ 一般的な取り付け手順を説明しますが、詳細は純正サービスマニュアルおよびお持ちのボアアップキットの取扱説明書を確認しながら、正しく組み立ててください。

3-15　新品のシリンダーガスケット、およびラバーパッキン（Oリング）、ノックピン２個をクランクケースに取り付けます。

3-16　ピストン、ピストンリング、シリンダー内面に４サイクルオイルを塗布します。

3-17　ピストンリングを指で押さえながらシリンダーを組み立てます。

3-18　カムチェーンとカムチェーンガイドローラを元どおり取り付けます。

3-19　新品のシリンダーヘッドガスケット、Oリング、ノックピン２個をシリンダーに取り付けます。

3-20　手順 3-5 で取り外したシリンダーヘッドをシリンダーに取り付けます。

⚠注意
シリンダーヘッド取り付けの際、インテークバルブおよびエキゾーストバルブが閉まった状態になっているか確認してください。

3-21　シリンダーヘッドカバーを取り付け、手順 3-5 で外したワッシャを配置し、ナットを規定トルクで締め付けます。

⚠注意
４枚のワッシャのうち１枚だけ銅ワッシャになっています。銅ワッシャは、進行方向右下に入ります。
銅ワッシャの配置を前違えると、オイル漏れの原因になります。正しい位置に配置してください。
４個のナットのうち１つだけ通常のナット、３個は袋ナットになっています。通常のナットは、進行方向左下（銅ワッシャでない側）のネジに使用します。
シリンダーヘッドの締め付けは一度に規定トルクで締めずに、対角になるように何度かに分けて徐々に締め付けます。

3-22 シリンダーとシリンダーヘッド、シリンダーとクランクケースをつないでいるサイドボルトをそれぞれ取り付けます。

3-23 フライホイールの外周にあるＴマークとクランクケースの合マークを合わせて、ピストンを圧縮上死点の位置に合わせます。

3-24 カムスプロケットの表面にある〇マークと、シリンダーヘッドの合マークが合うようにカムチェーンをカムスプロケットに取り付けます。

3-25 カムスプロケット取り付けボルトを規定トルクで締め付けます。

⚠注意
カムスプロケットの〇マークとシリンダーヘッドの合マークが合っている状態で、正しく圧縮上死点の位置にピストンがいるか確認してください。合っていないままでエンジンを始動するとエンジントラブルを起こします。

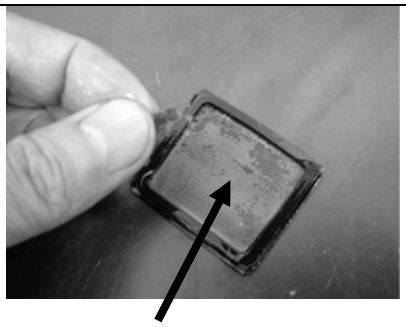
3-26 タペットクリアランスを調整します。

3-27 シリンダーヘッドサイドカバー（右）、（左）およびタペットキャップを元どおり取り付けます。

4　クラッチの取り付け

オイルポンプ下部にあるストレーナ(金網)は必ずきれいにして組み立ててください。部品をウエスでふいた状態で組み込んだり、軍手で作業したりするとこのストレーナに糸くずがつまり、オイルが回らなくなってエンジンを破損させます。

潤滑系統のトラブルはエンジンに致命的なダメージを与えるので、定期的に掃除するようにしてください。



ストレーナーに溜まったゴミを取り除きます。

4-1　手順 1-6 で取り外したクラッチユニットを、クランクシャフトに取り付けます。

⚠注意
クラッチユニット内部にあるフリクションディスクがハウジングの中心からずれていると、プライマリードライブギヤと正しくかみ合わず、クラッチレバーを操作してもクラッチが切れない状態になります。
プライマリードライブギヤがクラッチユニットに正しく組み立てられている事を確認し、クランクシャフトに差し込みます。
ロックナットは必ず規定トルク（35～45N・m）で締め付けてください。
ロックワッシャ（皿ワッシャ）は、”OUT SIDE”の刻印を外側に向けて取り付けてください。

4-2　ロックワッシャ、ワッシャー（表裏あり）を取り付け、ロックナットを規定トルクで締め付けます。その後、ロックワッシャのツメを曲げ、ロックナットの凹部に引っ掛けてください。

4-3　手順 1-4 で取り外したクラッチアウターカバーを元どおりに取り付けます。

4-4　ノックピン２個をクランクケースに取り付け、新品のクランクケースカバーガスケットを取り付けます。

4-5　クラッチアウターカバーの真ん中にオイルスルーが正しく入っているのを確認した

⚠注意
カバー裏側のプッシュロッドが脱落していないか確認してください。
キックシャフト部のオイルシールには、グリスを塗布してから組み立ててください。

4-6　Rクランクケースカバー取り付けボルトを規定トルクで締め付けます。

4-7　キックペダルを元どおりに取り付けます。

4-8　エンジン搭載後オイルを注入し、カムチェーン調整、オイル漏れの確認、クラッチ動作の確認をおこない、問題なければ作業は完了です。

東証JASDAQ上場 株式会社デイトナ　〒437-0226　静岡県周智郡森町一宮 4805
URL: http://www.daytona.co.jp
◎デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」
0120-60-4955 まで

取扱説明書

DAYTONA corp.
R77036①/⑦

*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。
*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。
*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

強化カムチェーン 82L	適応車種	商品NO.
	モンキー/カブ系の 50~70ｃｃエンジン（ノーマル長シリンダー）	77036

■ ご使用前に必ずご確認ください■

※　取扱説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。
※　商品の保証については保証書裏面の保証規定に沿って行っております。保証内容をご理解のうえ、この取扱説明書と一緒に保管してください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

⚠警告	要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
⚠注意	要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	禁止	禁止の行為であることを告げるものです。
法令違反	条件次第では法令違反となることを告げるものです。	その他	その他の警告及び注意を告げるものです。

⚠警告

禁止

- 締め切ったガレージ内部や通気の悪い場所で長時間エンジンをかけないでください。一酸化炭素中毒になる恐れがあります。
- ガソリンは非常に引火しやすいため、作業場所は一切の火気をさけてください。また、蒸発（気化）したガソリンは爆発の危険もあるので、通気の良い場所で作業を行ってください。
- この商品に、不用意に曲げ・切削・溶接等の加工を行った場合、重大な事故につながる恐れがあります。商品には指定以外の加工を施さないでください。
- この商品は、記載されている適応車種以外の車両には使用しないでください。

実施

- 作業は、車両を安定して支えられるスタンド等を用意して安全を確保したうえで行ってください。
- 商品を取り付ける際、使用する純正部品および車両各部に欠損・損傷がみられた場合はその部品の再使用を避け、新しい部品に交換してください。そのままご使用になられますと、重大な事故につながる場合があります。

⚠注意

実施

- この商品の取り付けには別途ホンダ純正のサービスマニュアルをご用意していただき、確実な作業を行ってください。また、この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。適切な工具の準備が不十分であったり、または取り付け経験が無かったりする場合は、技術や経験を有したショップへ作業を依頼されることをお勧めいたします。
- 取り付けに入る前に必ず安全を確保した上で作業を行ってください。
- 作業を行う際は、必ずエンジンやマフラーが冷えている状態で行ってください。熱い状態で作業を行うと、火傷を負う原因となります。
- 取り付けは確実に行ってください。又走行中ネジ部等緩む事のないように、規定トルクで確実に締め付けてください。

実施

- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意してから作業を行ってください。不適切な工具で作業を行うと部品を破損したり、ケガをしたりする可能性があります。
- ボルト・ナット類の締め付けはトルクレンチを使用して、必ずそれぞれのサイズに合った規定の締め付けトルクで締め付けてください。
- 取り付け後約１００ｋｍ走行しましたら各部を点検し、ネジの増し締め確認をおこなってください。その後は約５００ｋｍ毎に必ず点検を行ってください。
- 部品や車両には、エッジや突起がある場合があります。作業は手を保護して行ってください。

法令違反

- 一般公道では、道路交通法に則した制限速度に準じた運行を行ってください。一般公道の制限速度を超える速度で走行した場合、ライダー自身が道路交通法（速度超過）によって罰せられます。

その他

- この商品あるいはこの商品を取り付けたオートバイを第三者へ譲渡する場合には、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。
- この商品は、予告なしに価格や仕様の変更をする場合があります。また、本文中に紹介した商品についても同様です。あらかじめご了承ください。
- 走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を点検してください。
- ご本人以外が取り付けを行う場合、取り付けをされる方（販売店も含む）は、取り付け完了後各部の緩み、不具合等点検後、正常な作動の確認と危険箇所（バリ、突起物）無きことを確認のうえ、注意事項を説明しこの説明書も必ず一緒にお客様へお渡しください。
- レース等、競技目的の使用は自己責任にて、保証の対象外であることをご了承のうえ使用してください。

本商品の特徴

- モンキーノーマルカムチェーンは「25」サイズです。これに対しリンクプレートの厚い「25H」サイズの強化カムチェーンです。
- ボアアップエンジンに対応させるため、充分な引張強度を確保し、チェーンの伸びが発生しにくくなっています。
- ノーマル～ハイパーヘッド 110ｃｃクラスのエンジンに対応します。

商品内容

NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量
①	強化カムチェーン	82L	1

取付手順

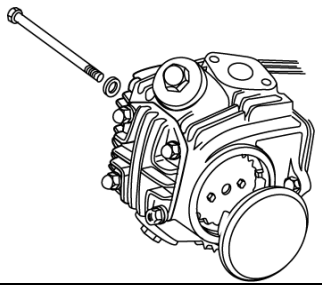
One Point!

※ボアアップキットの装着と同時に行うことで作業を簡略できます。

1.

【Ｌサイドカバーを外します。】

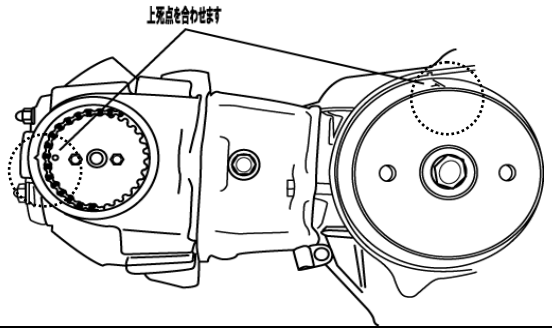
Ｌサイドカバーが貼り付いて外れづらい場合は、固定ボルトをサイドカバーに対しネジ部を半分ほどかかった状態にし、ボルトの頭をプラスティックハンマーでたたくと容易に外す事が出来ます。



2.

【上死点を合わせます。】

フライホイールの’Ｔ‘マークをクランクケースの上側【右図の位置】切り欠き部に合わせた時に、カムスプロケットの’Ｏ‘マークがシリンダーヘッドの切り欠きに合う位置が、ピストンが一番上に達している位置になります。



3.

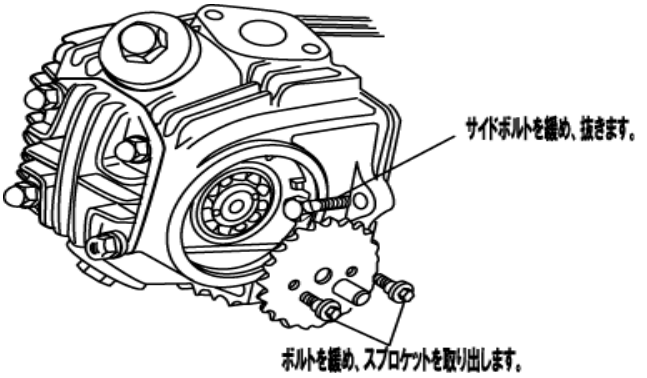
【カムスプロケットを外します。】

カムスプロケットを固定しているボルト【M５×２本】を外しカムスプロケットを引き抜きます。

カムスプロケットを外す際は、ボルトを抜いた穴２箇所をラジオペンチでつまみ、手前に引き出すよう作業を行ってください。

その後、サイドボルトを緩めシリンダーヘッドより抜き取ります。

サイドボルトは再使用します。



4.

【シリンダーヘッドの取り外し】

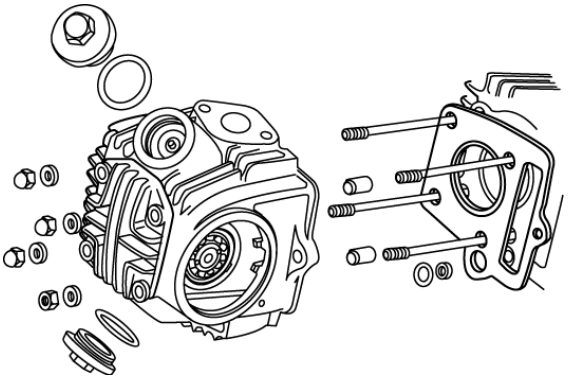
シリンダーヘッドを締め付けている、袋ナット【３個】・ナット【１個】を対角線に緩め、ワッシャー【スチール３枚・銅１枚】も取り外します。タペットキャップも取り外します。

その後、シリンダーヘッドを引いて抜き取ります。

ガスケットが貼り付いている等で、ヘッドが抜けづらい場合は、プラスティックハンマーで、ヘッド本体を軽く叩きながら、シリンダーヘッドを引き抜いてください。

One Point!

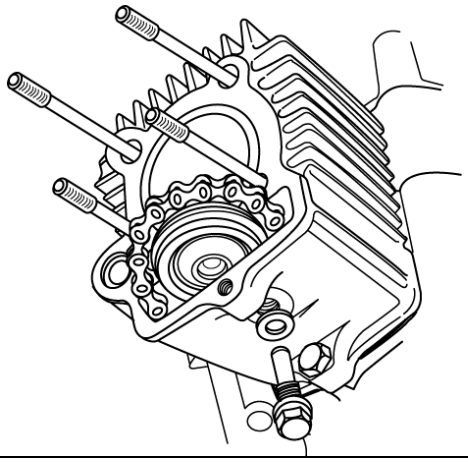
作業の際、フロントタイヤのエアを抜き、フロントフェンダーを取り外します。こうすることでエンジンを降ろさずに作業することが可能となります。



5.

【カムチェーンガイドローラーの取り外し】

シリンダーが抜けないよう、ガイドローラー固定ボルトを緩めガイドローラーをカムチェーントンネル部上部より取り外します。



6.

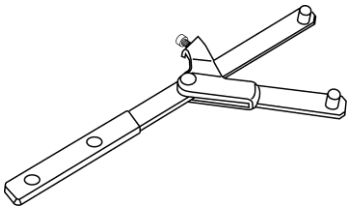
【Ｌクランケースカバーを取り外します。】

図３本の六角ボルト M6 を外し、Ｌクランクケースカバーを取り外します。

7.

シザーズホルダーで周り止めをし、フライホイールセンターナットを外します。

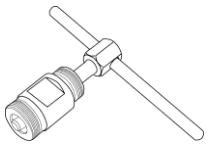
One Point! **品番 36469 シザースホルダー￥3,300（税抜）が使用できます。**



8.

フライホイールプーラーを使用し、ノーマルフライホイールを取り外します。

One Point! **品番 44686 フライホイールプーラー￥2,500（税抜）を使用できます。**



9.

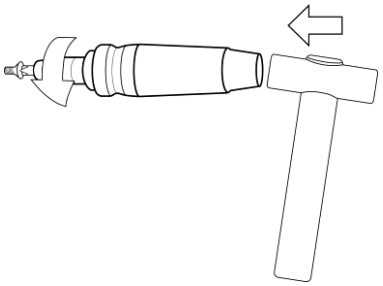
チャージコイルから出ている配線をゴムブーツ内の配線集合部にて取り外します。

10.

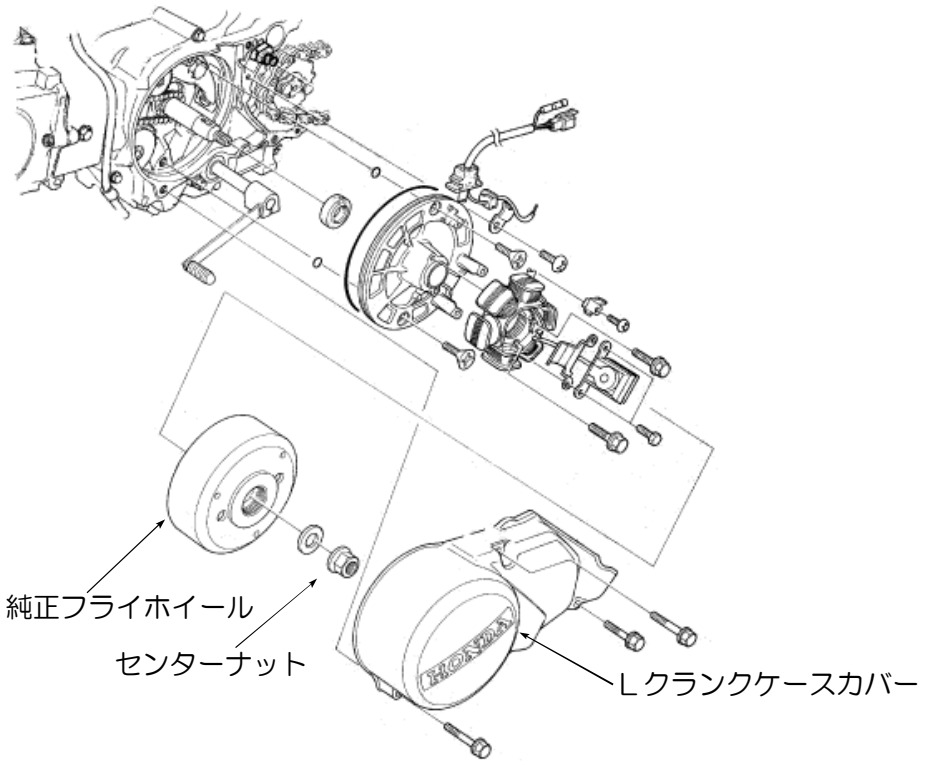
ステータベースを固定している 2 本のプラスネジ（M6 皿ねじ）を緩め取り外します。

⚠注意

２本のプラスネジは非常に舐めやすい為、インパクトドライバー又は、サイズのあったドライバーを使用し、注意して作業してください。



[分解図]



［ローターの取り外し］

①シザーズホルダーでフライホイールが周らないように固定し、ソケット（14mm）でセンターナットを緩めて取り外します。

②フライホイールセンターのネジ切り部にフライホイールプーラーをねじ込み、シャフトを緩めてフライホイールを取り外します。

11.

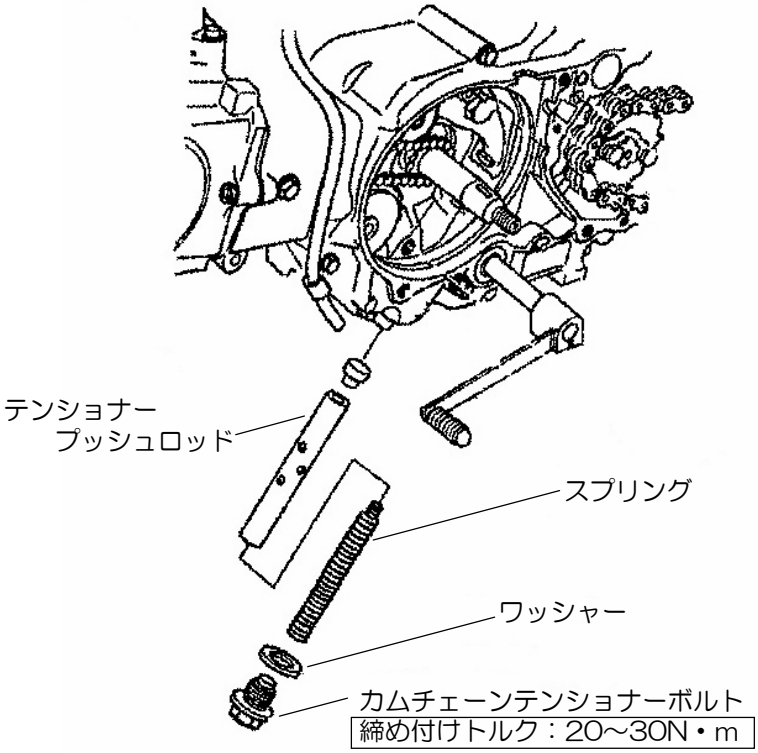
【テンショナープッシュロッドの取り外し】

カムチェーンテンショナーボルトを緩めて抜き取り、スプリングとテンショナープッシュロッドを外します。

12.

カムチェーンを後方に引っ張るようにしてカムチェーンを抜き取ります。

［オートテンショナー分解図］



13.

【①強化カムチェーンの組み付け】

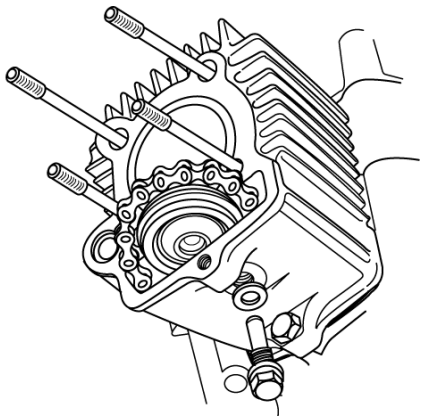
①強化カムチェーンを外した時の逆方向から組み付け、シリンダー上部に通します。

14.

【シリンダーにカムチェーンガイドローラーを装着します。】

シリンダーが抜けないよう、シリンダーを押さえながら、チェーンを引き出し、ガイドローラー固定ボルトにてガイドローラーを装着します。

■ ガイドローラーボルト締め付けトルク
：８Nm～１２Nm



15.

【シリンダーヘッドを装着します。】

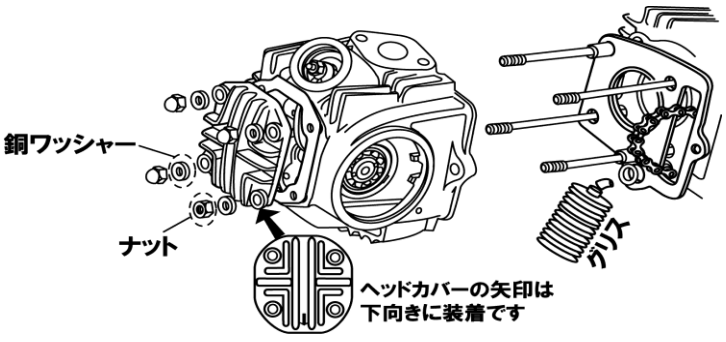
ノックピン(Φ８×１４：２個)を右クランクケース上側、左クランクケース下側（Φ８×１４）のスタッドボルトに通し、シリンダーへ差し込みます。

ヘッドガスケット(金属)を装着し、Oリング(オレンジ色)にグリスを塗布し、下図の位置に装着します。

シリンダーヘッド・ヘッドカバーガスケット・ヘッドカバーの順で装着します。

取外した、シリンダーヘッドを締め付けていた袋ナット３個・ナット１個・スチール製平ワッシャー３枚・銅ワッシャー１枚を使用し、下図の装着箇所へ規定トルクにて締め付けを行ってください。

■ シリンダーヘッド締め付けトルク
：８Nm～１２Nm



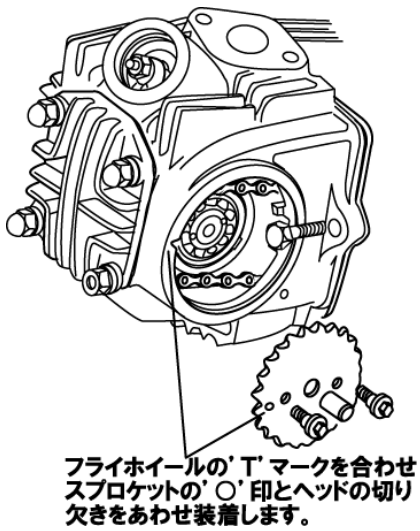
16.

【カムチェーンスプロケットの装着を行います。】
シリンダーヘッドサイドボルトを規定トルクで締め付けます。

■　サイドボルト締め付けトルク：８Nm～１２Nm

カムシャフトの中心にノックピン(Φ８×１２：１個)を組み込みます。
組み付け手順２で行ったように、フライホイールの”T“マークをクランクケース側切り欠きにあわせます。
“T“マークをあわせたまま、①強化カムチェーンにカムチェーンスプロケットを取り付け、カムチェーンスプロケットの”O” マークとシリンダーヘッドの切り欠きを合わせ、カムシャフトの位置を調整して、カムチェーンスプロケット固定ボルトを規定トルクで締め付けます。

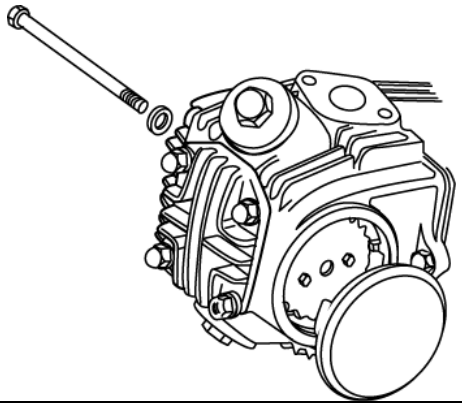
■　カムチェーンスプロケット締め付けトルク：８Nm～１２Nm



17.

【Ｌサイドカバーを取り付けます。】
Ｌサイドカバーを取り外しと逆の手順で取り付けます。

■　M6 ボルト締め付けトルク：８Nm～１２Nm

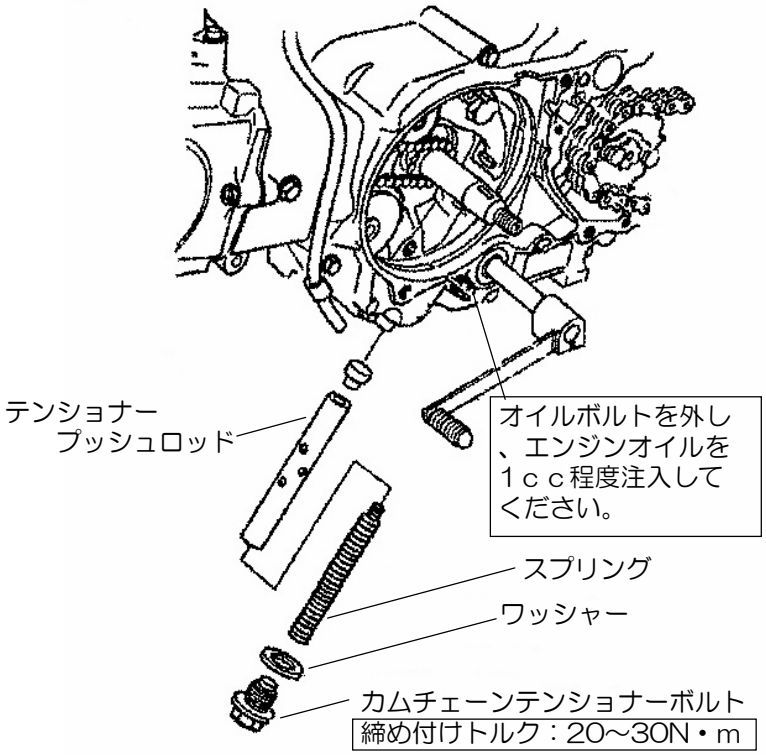


18.

【カムチェーンテンショナーの取り付け】
取り外しの逆の手順でテンショナープッシュロッド、スプリング、テンショナーボルトを組み付けます。

■　カムチェーンテンショナーボルト締め付けトルク：20Nm～30Nm
■　オイルボルト締め付けトルク：10Nm

［オートテンショナー分解図］



19.

クランクケースに O リングを付け、ステーターコイル ASSY を、サラネジ M6（2 本）にて、クランクケースに取り付けます。

■サラネジ締め付けトルク：0.8～10N·m

⚠注意

コイルベースをクランクシャフトに通す際、ウッドラフキーに引っ掛けて、オイルシールのリップ分がめくれない様に注意してください。

20.

ウッドラフキーがクランクシャフトの溝部に確実に取り付けられていることを確認し、フライホイールをクランクシャフトに取り付けます。シザーズホルダーで固定しながら、純正センターナットを締めて固定します。

■純正センターナット締め付けトルク：30～38N·m

One Point!

ローター位置がずれた状態で締めこまないよう注意してください。

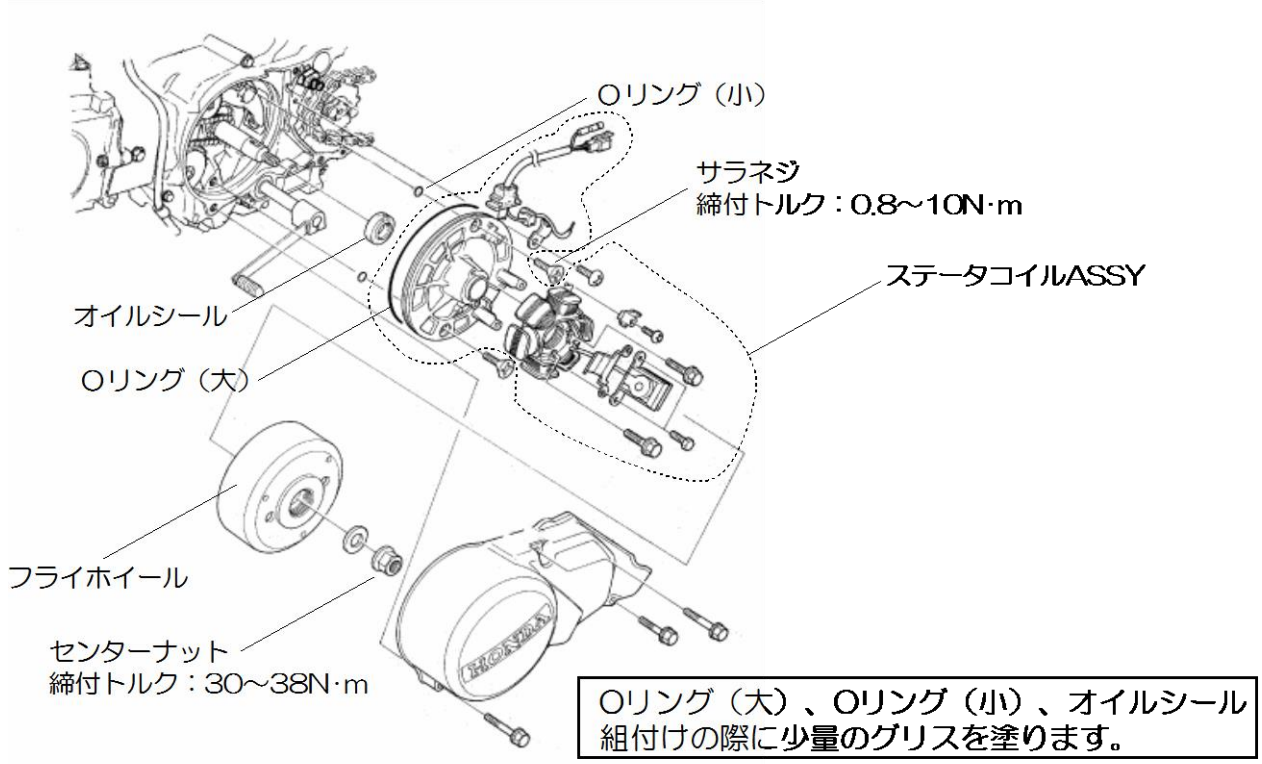
21.

ステーターコイル ASSY から出ているニュートラル配線をニュートラルスイッチに差込み、グロメットをクランクケースにはめます。

22.

ステーターコイル ASSY から出ている配線を純正ハーネスに接続し、グロメットをクランクケースにはめます。
L クランクケースカバーをもとのように取り付けます。

［組付け図］



23.

外した部品を元にもどし、作業は完了です。

東証JASDAQ上場 株式会社デイトナ　〒437-0226　静岡県周智郡森町一宮 4805
URL: http://www.daytona.co.jp
◎デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」0120-60-4955 まで